

第七次紫波町母子保健計画

計画期間：令和6（2024）年度～令和9（2027）年度



健やか親子21のシンボルマーク「すこりん」

令和6年3月

目 次

I 計画の概要

1	計画の趣旨	1
2	計画の期間	2
3	母子保健計画の経緯	2
4	母子保健法で規定する主要事項	3

II 町の状況

1	町の特色	5
2	人口統計	6
	（1）人口と世帯	6
	（2）出生状況	7
3	妊婦・家族の喫煙状況	9
4	子ども達の現状	10
	（1）幼児健康診査受診率	10
	（2）生活リズム	11
	（3）3歳児のう歯（むし歯の状況）	12
	（4）個別発達相談の状況	13
5	母子保健事業一覧	14
	紫波町子育てスケジュール	15

III 評価方法と第六次計画の評価

1	評価方法	16
2	施策の評価	17
	（1）はぐくむ命	17
	（2）健康なからだ	20
	（3）楽しい子育て	24

IV 施策の展開

1	施策の体系	27
2	実施施策	28
	（1）はぐくむ命	28
	（2）健康なからだ	32
	（3）楽しい子育て	37

V 計画の推進

1	計画に取り組む視点と計画の方法	40
2	計画の評価	41
3	第七次母子保健計画確認指標と目標値	42

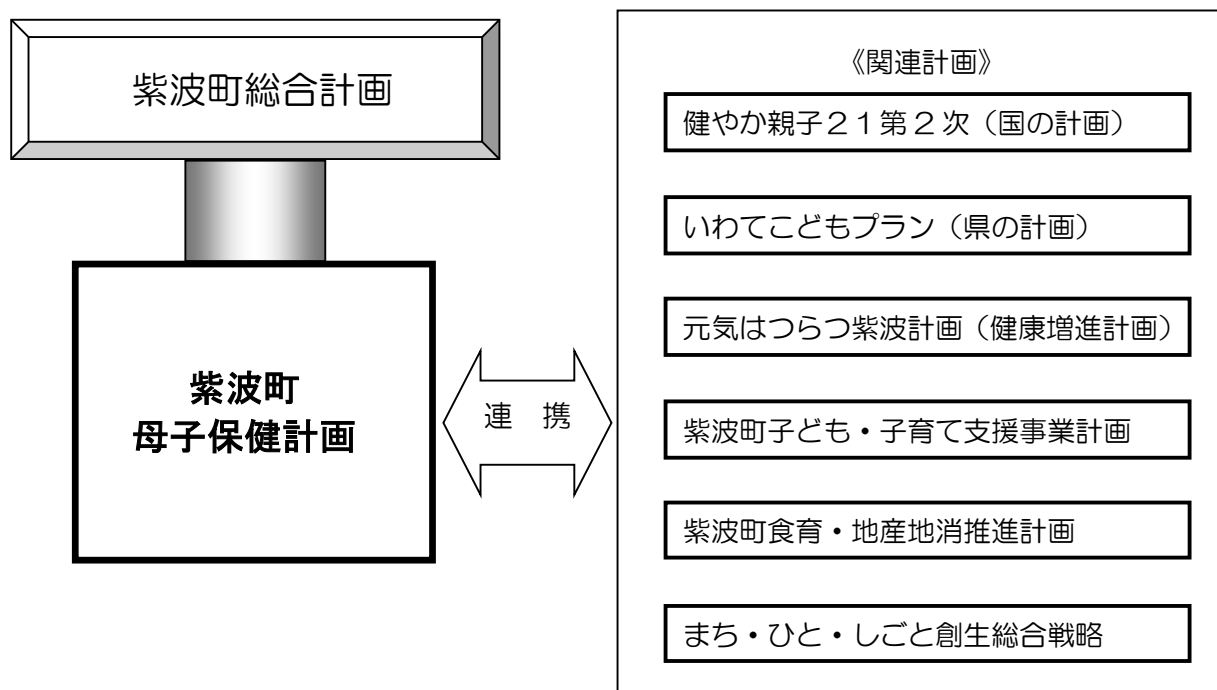
I 計画の概要

1 計画の趣旨

母子保健施策については、地域の母子の健康や生活環境の向上を図るための体制の確立に向けた母子保健計画を策定し、効果的な推進を図っていくこと（平成8年5月厚生省児童家庭局通知）とされ、当町では平成9年3月に第一次計画を策定しました。以来、4年ごとに計画の評価と見直しを行ってきました。

本計画は第三次紫波町総合計画に掲げる「一人ひとりが心身ともに健康な生活を送っている」という分野別施策を推進するための計画のひとつに位置づけられるものであり、効果的な母子保健対策の推進を図るための計画です。

母子保健法に規定される町の責務を基本に、国民運動である「健やか親子21（第2次）」で示された課題や指標を踏まえるとともに母子保健計画策定指針（平成26年6月17日厚生労働省雇用均等・児童家庭局通知）を踏まえ、第六次計画を見直し、第七次計画を策定しました。



2 計画の期間

本計画の期間は、2024（令和6）年度から2027（令和9）年度までの4年計画とします。各年度において実績値の管理を行い、最終年度に評価を行います。

3 母子保健計画の経緯

計画名称	計画期間	主な出来事と計画の特徴
第一次 紫波町母子保健計画	平成 9 年度 ～ 平成 13 年度	○平成 6 年、母子保健法の一部改正 ○平成 9 年度から、母子保健事業実施主体が市町村に移譲されることになった。 ○平成 9 年 3 月、第一次計画を策定。
第二次 紫波町母子保健計画	平成 14 年度 ～ 平成 18 年度	○第二次計画は、基本理念に「地域で安心して子育てできる町」を掲げた。 ○平成 15 年、次世代育成支援対策推進法施行 ○平成 16 年 3 月、紫波町次世代育成支援行動計画が策定され、母子保健分野も包括された。
第三次 紫波町母子保健計画	平成 20 年度 ～ 平成 23 年度	○第三次計画は、事業の進捗状況を測る確認指標を設定した。 ○平成 23 年 3 月、第二次紫波町総合計画が策定された。
第四次 紫波町母子保健計画	平成 24 年度 ～ 平成 27 年度	○第四次計画は、第二次総合計画や次世代育成支援後期行動計画との整合性を図りながら策定した。 ○平成 27 年 3 月、紫波町子ども・子育て支援事業計画が策定された。
第五次 紫波町母子保健計画	平成 28 年度 ～ 平成 31 年度	○第五次計画は、「健やか親子 21（第 2 次）」で示された課題や指標を基本に策定した。
第六次 紫波町母子保健計画	令和 2 年度 ～ 令和 5 年度	○第六次計画は、第三次紫波町総合計画や紫波町子ども・子育て支援事業計画、「健やか親子 21（第 2 次）」で示された課題や指標を基本に策定した。 ○令和 2 年度から、紫波町子育て世代包括支援センターが設置されるため、その機能を果たしていけるような計画としている。
第七次 紫波町母子保健計画	令和 6 年度 ～ 令和 9 年度	○第七次計画は、第三次紫波町総合計画や紫波町子ども・子育て支援事業計画、「健やか親子 21（第 2 次）」で示された課題や指標を基本に策定した。 ○令和 6 年度からこども家庭センターの設置が努力義務となるため、その機能である母子保健と児童福祉の連携に重点を置いた計画としている。

4 母子保健法（昭和 40 年制定）で規定する主要事項

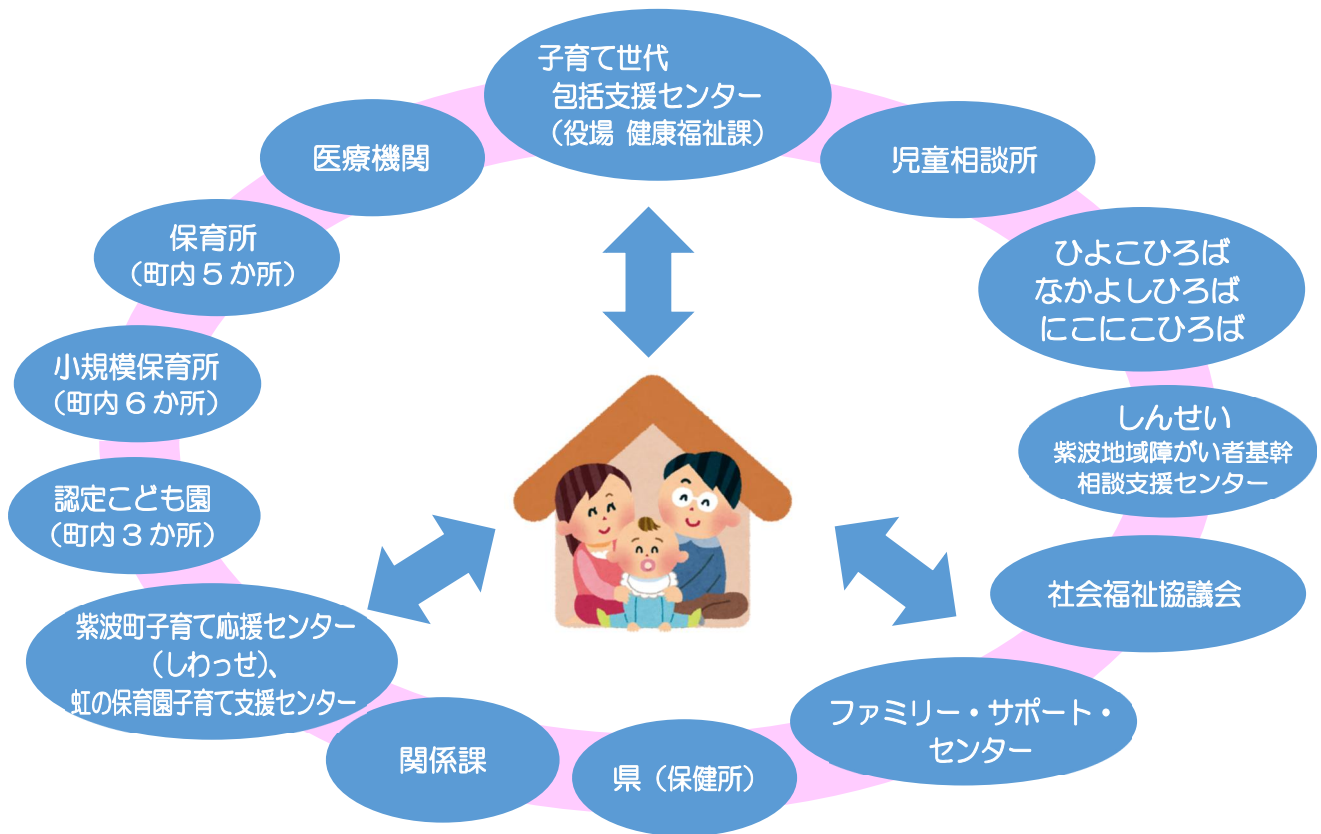
(1) 用語の定義

用 語	定 義
妊産婦	妊娠中又は出産後 1 年以内の女子
乳 児	1 歳に満たない者
新生児	出生後 28 日を経過しない乳児
未熟児	身体の発育が未熟のまま出生した乳児であって、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至るまでのもの
幼 児	満 1 歳から小学校就学の始期に達するまでの者
保護者	親権を行う者、未成年後見人その他の者で、乳児又は幼児を現に監護する者

(2) 市町村の役割

役 割	条 文
①母子保健に関する知識の普及	9 条
②妊産婦若しくはその配偶者に対する保健指導	10 条
③新生児の訪問指導	11 条
④幼児健康診査（1 歳 6 か月・3 歳）	12 条
⑤法定以外の幼児健康診査を受診することの勧奨	13 条
⑥妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する栄養摂取の援助	14 条
⑦妊娠の届出先	15 条
⑧妊娠の届出をした者に対する母子健康手帳の交付	16 条
⑨妊産婦への訪問指導	17 条
⑩低体重児（2,500 g 未満児）の届出先	18 条
⑪未熟児への訪問指導	19 条
⑫未熟児への養育医療	20 条
⑬母子健康包括支援センターの設置	22 条
「児童福祉法等の一部を改正する法律」（平成 28 年法律第 63 号）において、母子保健法第 22 条の改正が行われ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」（法律上の名称は「母子健康包括支援センターという。」）が新たに制定された。	

紫波町 子育て世代包括支援センター イメージ



子育て世代包括支援センターの目的

主に、妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や、地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、もって地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築することを目的としている。

Ⅱ 町の状況

1 町の特徴

紫波町は、岩手県のほぼ中央部に位置し、東部、中央部、西部に分けられ、中央部はJR東北本線と国道4号、東部は国道396号と国道456号が縦断、西部には東北自動車道紫波インターチェンジがあり、交通の便に恵まれています。

中央部には、日詰駅、紫波中央駅、古館駅のJR東北本線の3つの駅があります。

町では、紫波中央駅前町有地の活用を図るため、平成21年3月に紫波町公民連携基本計画を策定し、紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）に着手しました。これまでに、オガールプラザ（図書館、子育て応援センター、産直など）、オガールベース（バレーボール専用体育館、宿泊施設など）、役場庁舎が建設されました。

平成28年度には、オガールセンター（小児科、教育サポートセンター、スポーツジムなど）が誕生。翌年度にはこどもセンターが同施設内に設置され、隣地には、オガール保育園が開園しています。平成30年11月には、ファミリー・サポート・センターが開設されています。

東部では果樹の栽培が盛んであり、ワインの生産も行われ、西部では稲作を中心に、畜産のほか多様な野菜の生産に取り組んでいます。

観光面では、野村胡堂・あらえびす記念館、平泉文化に関連する五郎沼、あづまね温泉（「ききょう荘」「ラ・フランス温泉館」）、地産地消に取り組む産直などが数多く存在します。

●人 口：32,984人

●世帯数：12,811世帯

●医療機関

病 院：1

診療所：16

歯科診療所：12

●保育施設・学校

保 育 所：5（古館保育所、佐比内保育所、東部保育所、虹の保育園、オガール保育園）

認定こども園：3（ひかりの子、赤石幼稚園赤石保育園、あづま幼稚園）

小規模保育所：6（古館こぐま保育園、瑞穂こぐま保育園、赤石うさぎ保育園、ニコニコ保育園紫波、ピースハートさくらまち保育園、アガペ保育園）

学童施設（町営施設）：8（日詰：4、古館：3、水分：1）

学童施設（民営施設）：9（日詰：1、古館：1、赤石：4、志和：2、彦部：1）

小 学 校：5

中 学 校：3

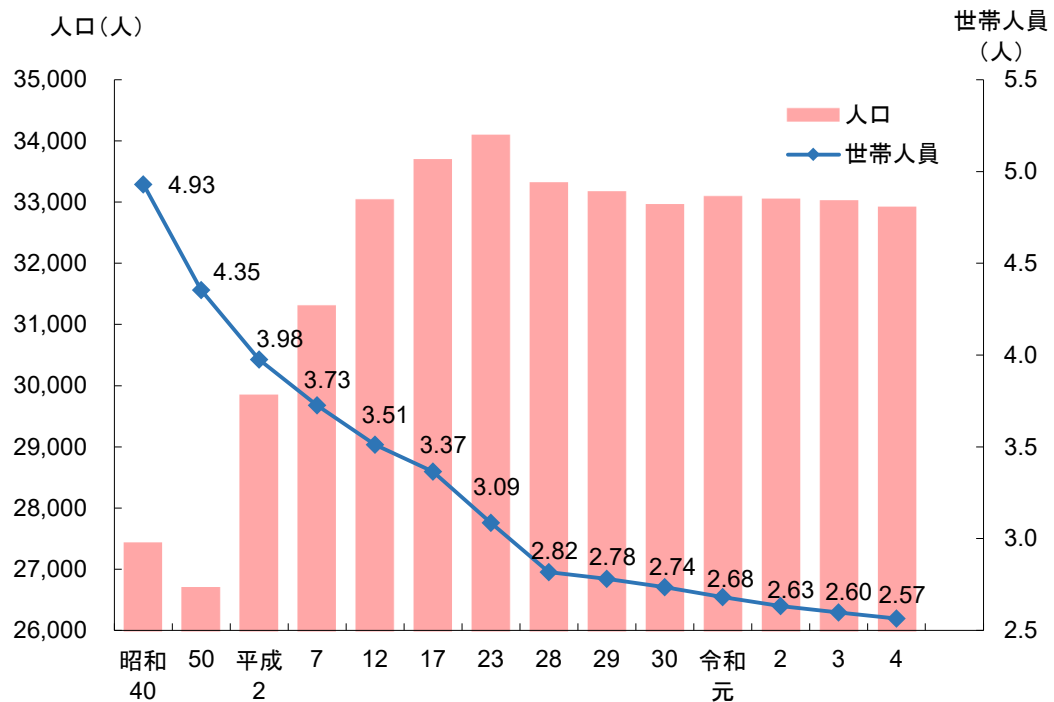
高等学校：1

（令和6年2月末現在）

2 人口統計

(1) 人口と世帯

① 人口推移と世帯人員の変化



年	昭和 40	昭和 50	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 23	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
人口	27,449	26,720	29,856	31,311	33,038	33,692	34,092	33,314	33,170	32,958	33,090	33,049	33,024	32,915
世帯数	5,568	6,136	7,510	8,402	9,406	10,012	11,045	11,827	11,925	12,045	12,338	12,557	12,711	12,832
世帯人員	4.93	4.35	3.98	3.73	3.51	3.37	3.09	2.82	2.78	2.74	2.68	2.63	2.60	2.57

※昭和 40 年から平成 17 年(国勢調査)

※平成 23 年以降は 3 月末時点の数値

平成 25 年以降は外国人を含む数値

- 昭和 40 年代から人口は増加、総人口の伸びは平成 23 年にピークを迎え、減少に転じています。
- 人口が減少する中で、世帯数は増加が続いています。
- 一世帯あたりの人員は、平成 23 年度には約 3 人まで減少し、その後も減少し核家族化が進行しています。

(2) 出生状況

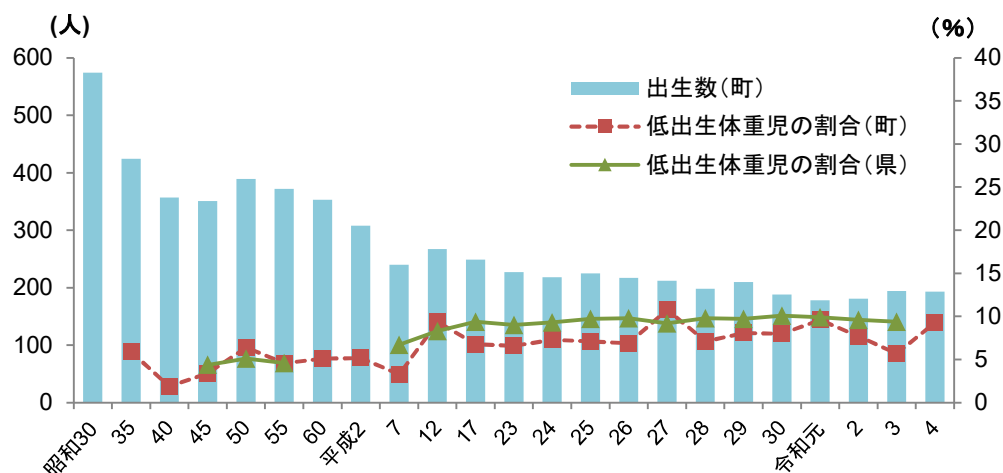
① 年次別出生数

年	出生数 (人)	乳児死亡		低出生体重児※1		合計特殊 出生率※2
		死亡数 (人)	死亡率(%) 千人当たり死亡数	出生数 (人)	率 (%)	
昭和 30	574	34	59.2	—	—	—
35	424	15	35.4	25	5.9	—
40	370	7	18.9	7	1.9	—
45	351	5	14.2	12	3.4	—
50	389	6	15.4	25	6.4	—
55	372	5	13.4	17	4.6	—
60	353	1	2.8	18	5.1	2.06
平成 2	308	2	6.5	16	5.2	1.87
7	240	0	0.0	8	3.3	1.55
12	267	2	7.5	25	9.4	1.32
17	249	0	0.0	17	6.8	1.45
23	227	2	8.8	15	6.6	1.36
24	218	1	4.6	16	7.3	1.37
25	225	1	4.4	16	7.1	1.39
26	217	0	0.0	15	6.9	1.43
27	212	2	9.4	18	8.5	1.44
28	198	0	0.0	16	8.1	1.46
29	210	0	0.0	15	7.1	1.51
30	188	0	0.0	19	10.1	1.41
令和 元	178	0	0.0	17	9.6	1.47
2	181	0	0.0	14	7.7	1.35
3	194	3	15.5	11	5.7	1.37
4	193	0	0.0	18	9.3	

※1 低出生体重児：出生時体重が2,500g未満の乳児

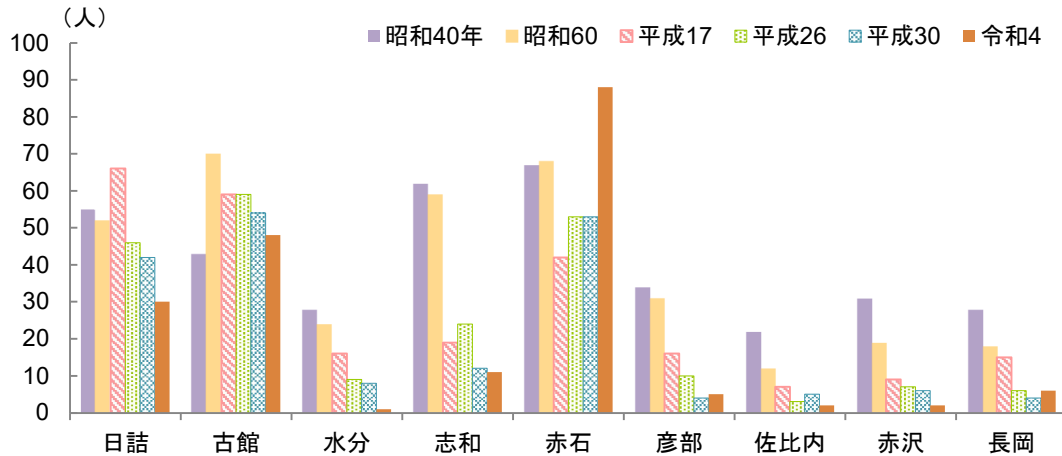
※2 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の各歳における出生率を合計した数字。1人の女性が一生の間に産む子供の数に相当する（資料 岩手県保健福祉年報）

② 出生数と低出生体重児の割合の推移



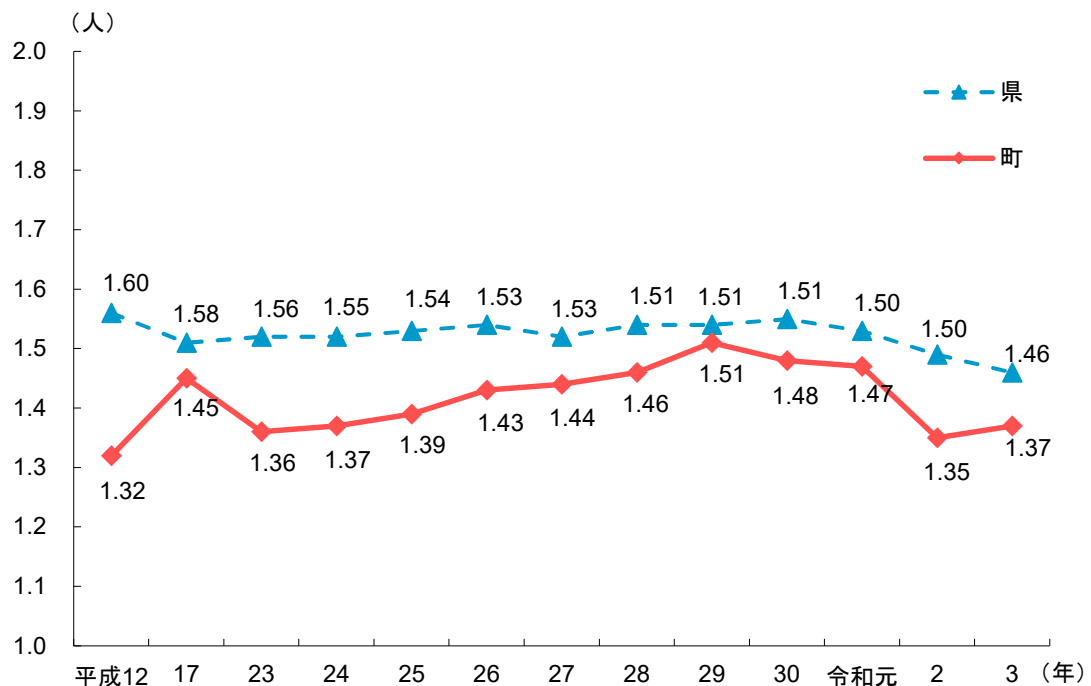
- 出生数は、200人前後で推移しています。
- 低出生体重児の割合は、県より低い割合で推移しています。

③ 地区別出生数の推移



地区別出生数をみると、常に中央部の日詰、古館、赤石地区の出生数が、町全体の8割を占めます。過去10年間では減少している地区がほとんどですが、赤石地区はここ数年増加傾向にあります。

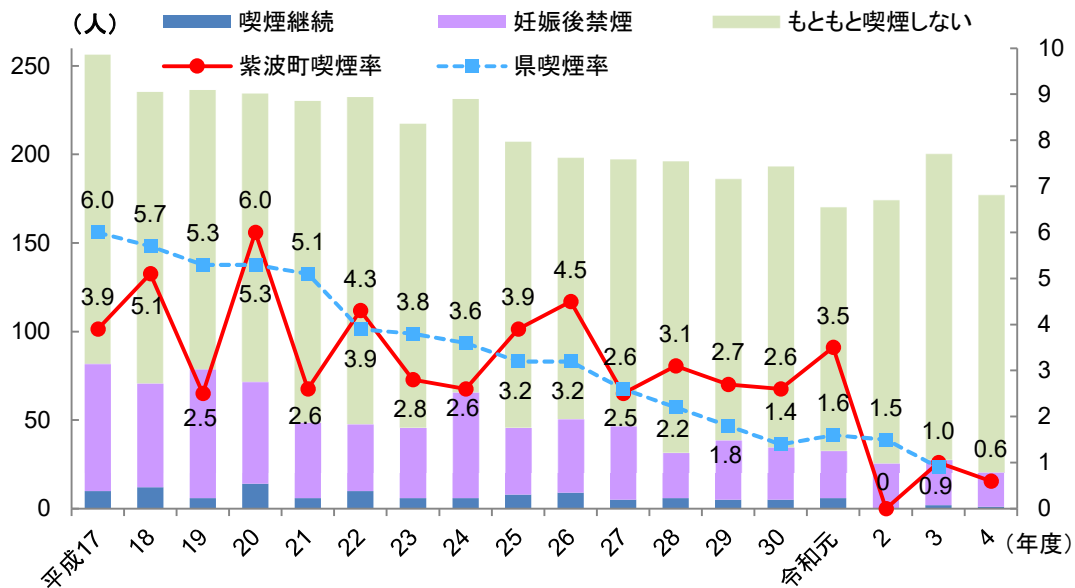
④ 合計特殊出生率



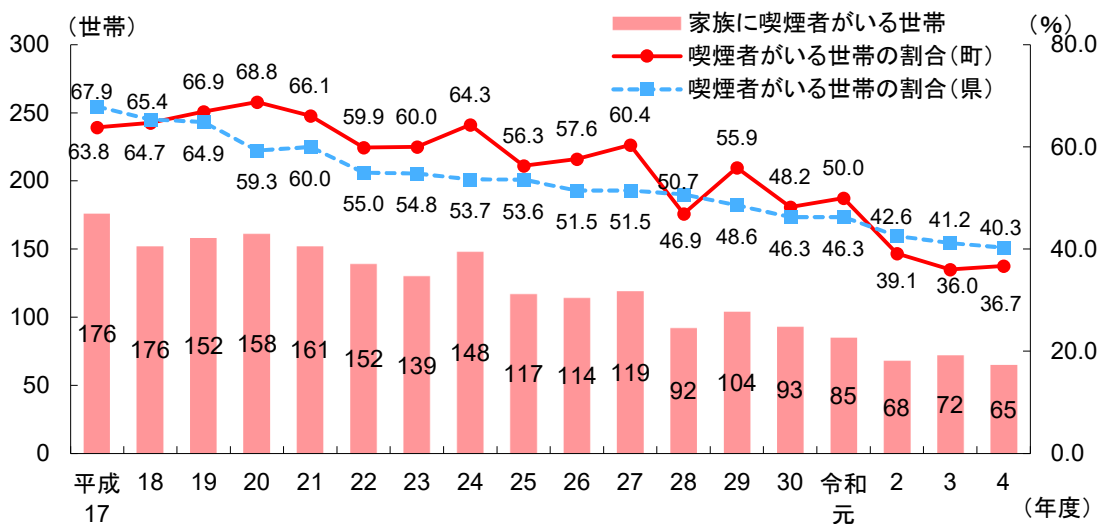
- 全国の合計特殊出生率は、令和3年で1.30です。(厚生労働省「人口動態統計」)
- 岩手県は、過去10年1.50人前後で推移しています。
- 紫波町は、平成29年までは微増傾向でしたが、その後は減少傾向となり、1.35～1.48の間で推移しています。

3 妊婦・家族の喫煙状況

① 妊婦の喫煙状況



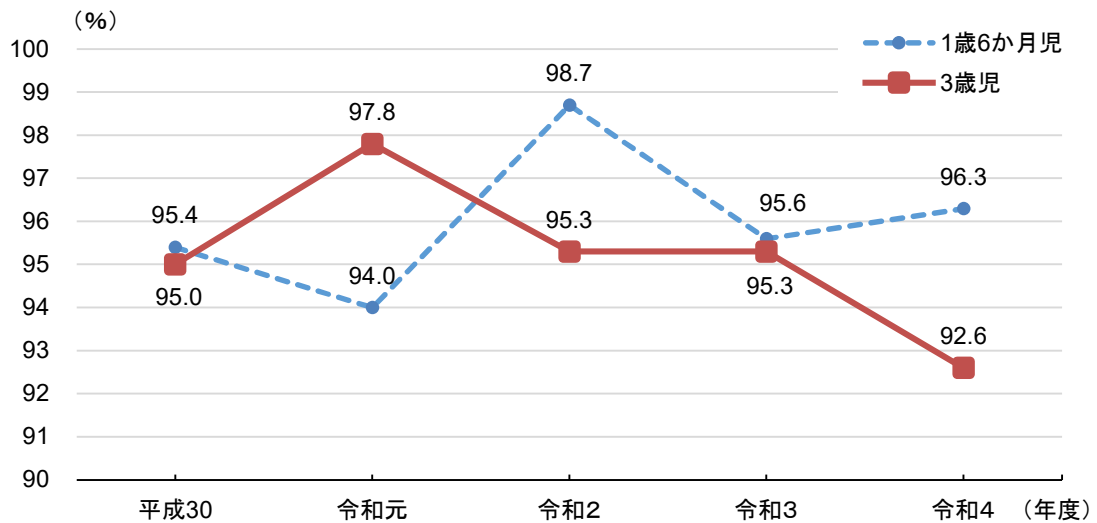
② 妊婦が属する世帯の喫煙状況



- 妊婦喫煙率は、令和元年度までは県の値より高い状況が続いていましたが、令和2年度以降、県と同程度で推移しています。（令和3年度：県0.9%、紫波町1.0%）
- 妊娠前に喫煙していた者のうち、8～9割は妊娠を機に禁煙しています。妊娠後も喫煙を継続している者は、胎児への影響は認識しているものの、止められない状況にあります。
- 家族に喫煙者がいる世帯は、平成29年度以降5割を下回っていますが、県と比較すると、高い状況が続いています。

4 子どもの現状

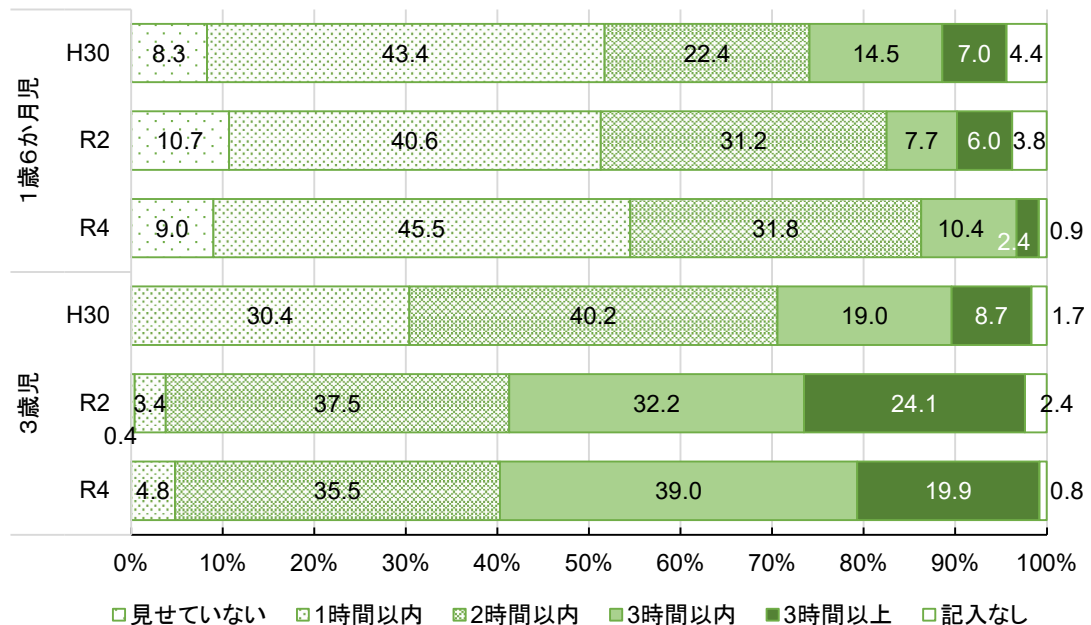
(1) 幼児健康診査受診率



母子保健法で定められている1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査はいずれも90%以上の受診率です。未受診者には郵送による受診勧奨のほか、電話や訪問による勧奨を行っており、100%の受診率を目指しています。

(2) 生活リズム

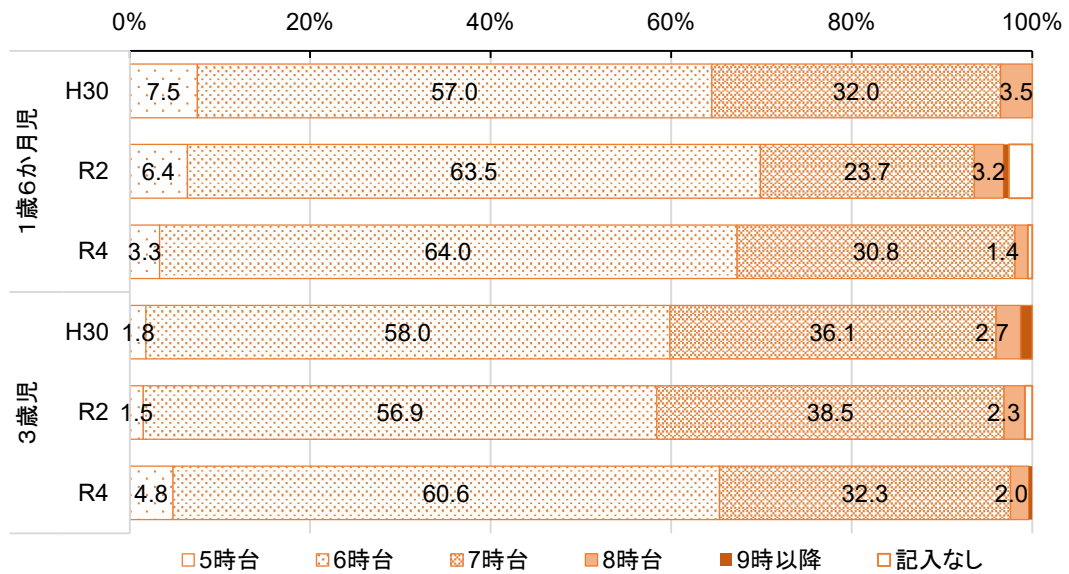
① 1日のテレビ・ビデオの視聴時間



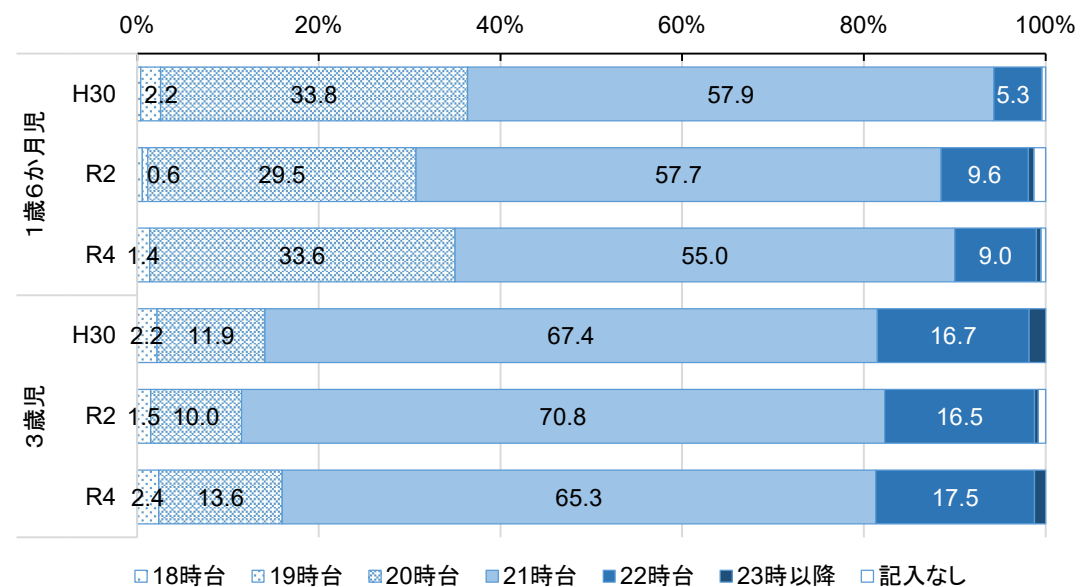
1歳6か月児健診・3歳児健診問診票より

テレビやビデオの視聴時間は、3歳児になると1時間以内の者の割合が減少し、3時間以内の者の割合が増加していることから、視聴時間が長くなっていることが分かります。

② 起床時間



③ 就寝時間

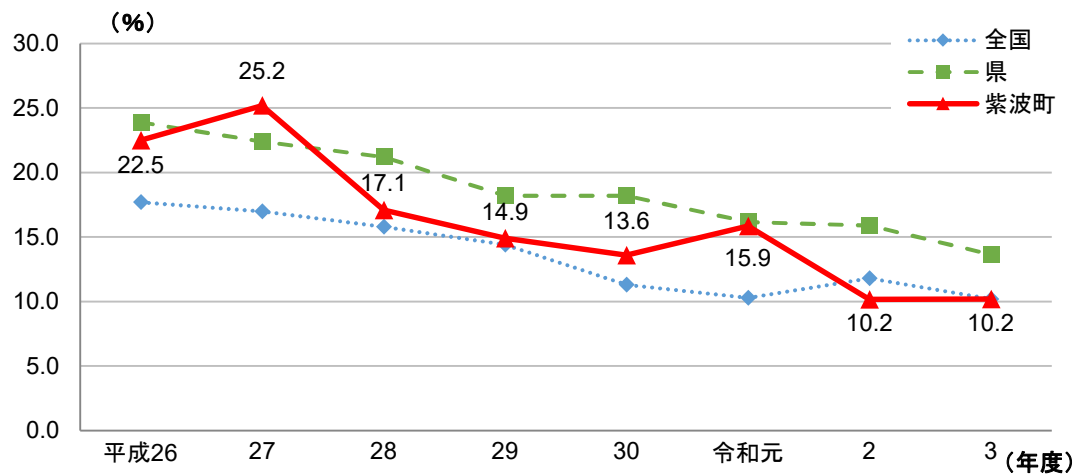


1歳6か月児健診・3歳児健診問診票より

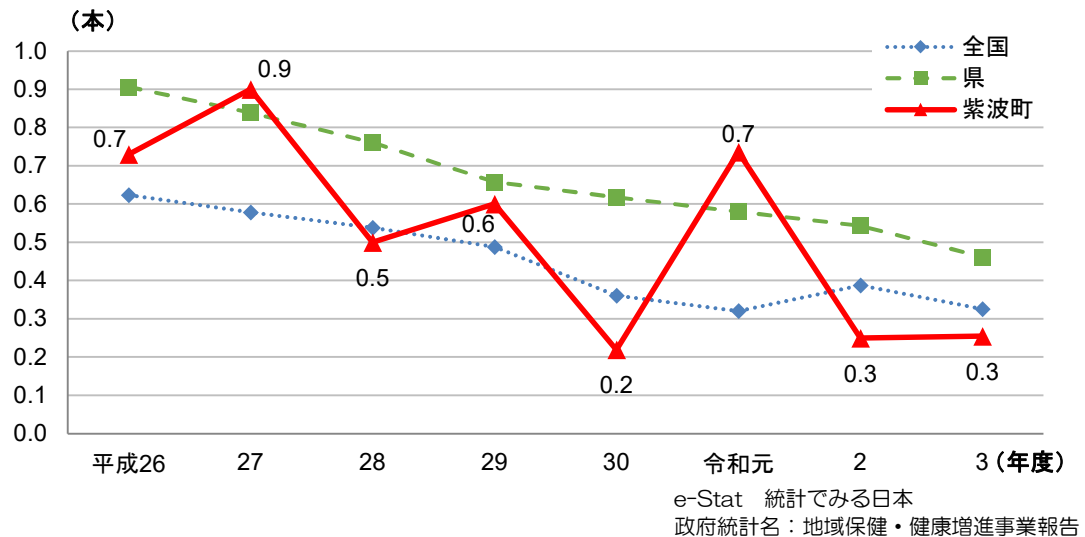
- 1歳6か月児・3歳児ともに、6時台に起床している子どもの割合が最も多く、早起きが習慣化していると考えられます。
- 21時台までに就寝する者の割合は、1歳6か月児では約9割ですが、3歳児では8割に減少しています。また、3歳児の22時台以降に就寝する者の割合が1歳6か月児の約2倍になっており、年齢が上がるにつれ就寝時間が遅くなる傾向にあると考えられます。

(3) 3歳児のう歯（むし歯）罹患状況

① 3歳児のう歯有病率

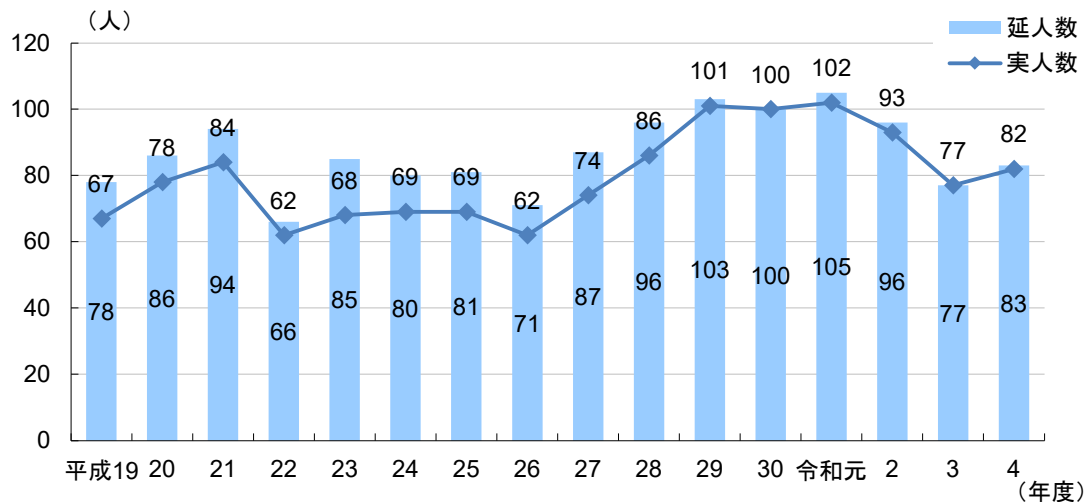


② 1人当たり平均う歯本数



- う歯有病率は経年的にみると減少傾向ですが、年度により全国や県を上回っており、引き続きう歯予防に関する周知が必要です。
- 令和元年度の平均う歯本数が多いのは、一人で多数のう歯に罹患している幼児が複数いたためです。

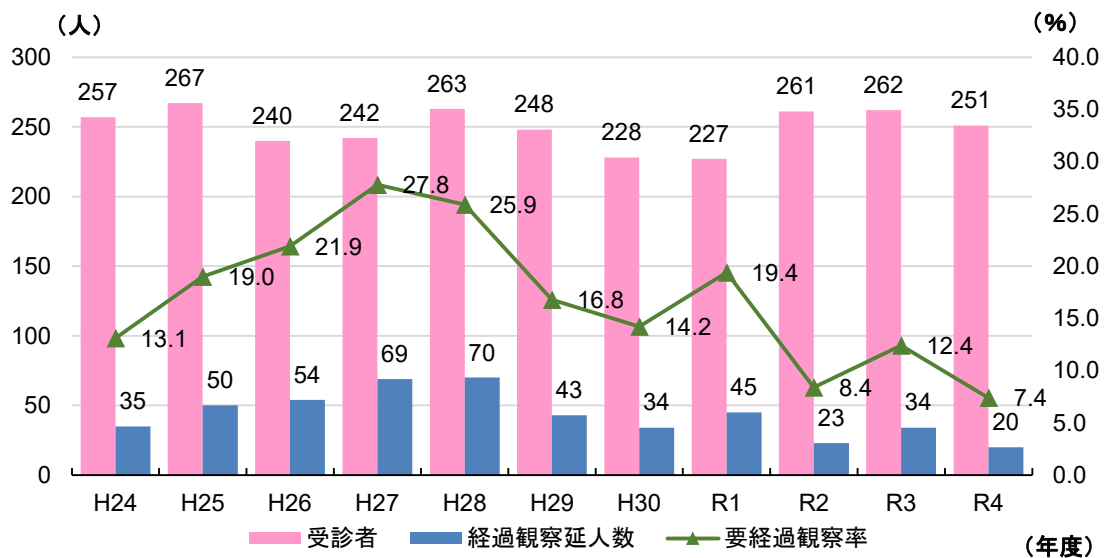
(4) 個別発達相談の状況



母子保健事業報告

個別発達相談件数は、近年 80 名前後で推移しています。この相談は、発達に不安のある児とその保護者に対して、継続した支援の中で医療・療育につないだり適切な親子関係について助言・指導を行い、幼児の健やかな発達を支援しているものです。

(5) 3歳児健康診査で精神面が要経過観察となった児の状況



3歳児健康診査結果

3歳児健康診査において、精神面（※）で要経過観察となった児は、ここ数年は 20～30 名です。要経過観察になった場合は、町の個別発達相談で継続支援したり、専門医療機関・相談機関につないでいます。

※精神面：言語障害、情緒面、自閉的傾向、精神機能発達異常、多動、養育環境等、その他

5 母子保健事業一覧

区 分	事 業 名	内 容
妊産婦 健康づくり (妊娠・出産)	母子健康手帳交付	体調等を確認しながら交付。妊娠 11 週以内の早期届出を勧奨する。
	妊産婦委託健康診査	妊婦健康診査 14 回、子宮頸がん検診 1 回、産婦健康診査 2 回を全額公費負担している。
	妊婦歯科健康診査	妊婦歯科健康診査 1 回分を全額公費負担している。
	パパママ教室	出産を迎える夫婦に正しい知識を伝え、不安の解消や交流の場とする。
	妊産婦訪問	妊婦及び産婦への訪問。エジンバラ産後うつ病質問票を活用したうつスクリーニングを実施し、ハイリスク妊産婦の支援を行う。
	授乳相談会	助産師が授乳トラブルなどの相談に個別に応じる。
	マタニティほっと相談	妊娠中の体調などの悩み事について電話又は訪問にて対応。
	妊娠 SOS テレフォン	望まない妊娠や思いがけない妊娠で悩まれている方の電話相談。
	子育てほっと相談	妊婦相談・子どもの身体計測・育児相談・栄養相談
乳幼児 健康診査 (成長・発達)	新生児聴覚検査	初回検査 2,000 円分を公費負担する。
	乳児一般健康診査	1 歳 2 か月までの健康診査 5 回を全額公費負担する。
	1 歳 6 か月児健康診査	子どもの成長・発達の状態を総合的に診察する。また、保護者が子どもの成長を確認するとともに育児相談ができる機会とする。(集団健康診査)
	3 歳児健康診査	子どもの成長・発達の状態を総合的に診察する。また、保護者が子どもの成長を確認するとともに育児相談ができる機会とする。(集団健康診査)
	幼児歯科健康診査	委託歯科医院での歯科健康診査(1 歳 6 か月児、2 歳児、3 歳児)。
	新生児・乳児訪問	赤ちゃんの発達を確認するとともに、「BirthBook」を活用し健康診査や予防接種、子育て支援事業を紹介する。
子育て支援 (育児・子育て)	幼児訪問	発達や育児環境等について継続支援が必要な児への訪問。
	BabyCome☆ 4～5 か月広場	生後 4～5 か月児と保護者が対象。健やかな発育を促すための親子の関わり方や離乳食の進め方について指導。
	2 歳 6 か月児教室	子どもの成長・発達の状態を確認する。また、保護者が子どもの成長を確認するとともに育児相談ができる機会とする。
	子育てほっと相談	妊婦相談・子どもの身体計測・育児相談・栄養相談
	離乳食教室	離乳食のすすめ方の講話
	幼児教室	発達特性のある児と保護者が対象。心身の発達に応じた親の関わりやより良い親子関係の確立が図れるように支援。
	個別発達相談	発達、療育面の個別相談。
助成・給付	未熟児養育医療事業	身体の発育が未熟な状態で生まれた児に対し、入院治療にかかる医療費を給付する。
	伴走型相談支援事業及び出産・子育て応援交付金の一体的実施事業	妊娠の届け出時の面談を受けた妊婦に 50,000 円、乳児訪問時の面談等を受けた産婦に 50,000 円を給付するとともに、機会をとらえて相談支援等を行う。

令和5年度 紫波町子育てスケジュール

	妊娠～出産 	出産～退院 	退院～産後1か月 	産後1か月～1歳 	1歳～3歳 	3歳～就学まで 
医療機関	栄養指導	授乳指導	電話相談	予防接種		
	妊婦健診	退院指導	産婦健診 (産後2週間・1か月)	1～2か月健診		
	両親学級	育児指導		3～4か月健診		
		新生児聴覚検査		6～7か月健診		
母子保健事業				9～10か月健診		
				1歳児健診	幼児歯科健康診査	
	妊娠SOSﾌｫﾛﾜｰ		赤ちゃん訪問 (全戸訪問)	1歳6か月児健康診査		
	母子健康手帳交付		産後ケア・授乳相談会		2歳6か月児教室	
	パパママ教室			4～5か月広場	3歳児健康診査	
				離乳食教室	個別発達相談	
子育てほっと相談						
家庭訪問・電話相談(必要時)						
 伴走型相談支援(主に0歳～2歳の乳幼児)						

Ⅲ 評価方法と第六次計画の評価

1 評価方法

評価の方法は、領域ごとの施策（取り組み）について評価を行い、次に領域の総合評価を行いました。

(1) 施策の評価

評価判定	評価基準
a	令和4年度の確認指標の目標値に対して実績値8割以上の達成率とする。
b	令和4年度の確認指標の目標値に対して実績値5割以上8割未満の達成率とする。
c	令和4年度の確認指標の目標値に対して実績値5割未満の達成率とする。

(2) 領域の総合評価

評価判定	評価基準
A	aが半数以上
B	b以上が半数以上
C	b以下が半数以上

2 施策の評価

★…健やか親子 21（第2次）の指標

＜施策領域＞ 1 はぐくむ命（妊娠・出産を支援します）

◆実績・評価

101 青少年期に健康の大切さを伝える						
取り組み	確認指標	R2	R3	R4	評価	
①関係機関と連携し、思春期の問題について情報交換により現状を把握する。	連携会議や学校保健会での情報収集・参加	目標値	随時把握	随時把握	—	
		実績値	随時把握	随時把握		
②タバコやアルコールの害について伝える。	リーフレット配付回数	目標値	1回	1回	a	
		実績値	1回	1回		

102 妊娠・出産の正しい知識や情報を伝える						
取り組み	確認指標	R2	R3	R4	評価	
①早めに妊娠届出をするための普及啓発。	妊娠 11 週以内の妊娠届出の割合	目標値	96%	96%	a	
		実績値	92.5%	92.5%		
②規則正しい、バランス良い食習慣の大切さについて啓発する。	母子健康手帳交付時の面接指導人数	目標値	全員	全員	a	
		実績値	全員 174 人	全員 200 人		
③妊婦健康診査を定期的に受診することの大切さについて伝える。	母子健康手帳交付時の面接指導人数	目標値	全員	全員	a	
		実績値	全員 174 人	全員 200 人		
④町や医療機関で開催している両親学級の活用について伝える。	母子健康手帳交付時の面接指導人数	目標値	全員	全員	a	
		実績値	全員 174 人	全員 200 人		
⑤妊産婦及び家族に喫煙の影響について伝える。	妊婦の喫煙率★	目標値	0%	0%	c	
		実績値	0%	1.5%		
	個別禁煙指導 禁煙成功率	目標値	100%	100%	c	
		実績値	実績なし	33.3%		
⑥ハイリスク及び特定妊婦については、関係機関と連携を図り支援する。	ハイリスク妊婦や特定妊婦への早期からの支援	目標値	随時支援	随時支援	—	
		実績値	随時支援 12 ケース	随時支援 16 ケース		
	医療機関との連携件数	目標値	随時連携	随時連携	—	
		実績値	随時連携	随時連携		

103 妊娠・出産の不安を軽減する						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①不安の解消を図るため、相談窓口及び地区担当保健師の周知をする。	母子健康手帳 交付時の面接 指導人数	目標値	交付者全員	交付者全員	交付者全員	a
		実績値	交付者全員 174人	交付者全員 200人	交付者全員 177人	
②産前産後のメンタルヘルスについて周知する。	パパママ教室 開催回数	目標値	8回	8回	8回	b
		実績値	7回	5回	4回	
	パパママ教室 に夫婦で参加 した割合	目標値	75%	75%	75%	a
		実績値	90.9%	78.6%	90.9%	
	パパママ教室 の初妊婦の参 加率	目標値	25%	25%	25%	a
		実績値	95.6%	100%	100%	
③支援が必要な妊婦及び家族には、訪問などを行い支援する。	ハイリスク妊婦や特定妊婦への早期からの支援	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	—
		実績値	随時支援 12ケース	随時支援 16ケース	随時支援 16ケース	
	産後保健師等からの指導やケアに満足している者の割合	目標値	93.5%	94%	94.5%	a
		実績値	92.5%	95.5%	90.9%	
④赤ちゃん訪問時に産婦の心身の健康状態を確認し、不安軽減に努める。	エジンバラ産後うつ病質問票の使用率	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	
⑤ハイリスク及び特定妊婦については、関係機関と連携を図り支援する。	医療機関との連携	目標値	随時連携	随時連携	随時連携	—
		実績値	随時連携	随時連携	随時連携	

104 親としての自覚を意識させる						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①パパママ教室において夫婦・家族がお互いの役割を理解し、積極的に育児に参加できるように支援する。	親になる心の準備ができたと感じる人の割合	目標値	妊婦 100%、夫 93%			a
②パパママ教室において夫婦で体験できる沐浴実習・抱っこ体験・妊婦疑似体験等の実習の場を設け、2人で子育てしていく意識が高まるように支援する。		実績値	妊婦 100% 夫 96.2%	妊婦 100% 夫 92.9%	妊婦 100% 夫 100%	

105 妊娠期からの虐待防止対策						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①母子手帳交付時に、妊婦の心身の健康状態や家庭状況（キーパーソンの把握）の把握や心配事の相談に応じる。	特定妊婦の把握	目標値	随時把握	随時把握	随時把握	—
		実績値	随時把握	随時把握	随時把握	
②支援が必要な妊婦やその家族には面接や訪問を行い、継続支援する。	特定妊婦への早期支援	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	—
		実績値	随時支援	随時支援	随時支援	
③関係機関と連携しながら、支援方法を検討する。	関係機関との連携	目標値	随時連携	随時連携	随時連携	—
		実績値	随時連携	随時連携	随時連携	
④相談窓口の周知に努める。	成人式でのリーフレットの配布	目標値	年1回	年1回	年1回	a
		実績値	年1回	年1回	年1回	

106 地域全体で妊産婦を支える						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①町民に妊産婦への配慮の 必要性を啓発する。（飲 酒、タバコの副流煙・優 先座席など）	広報・地区保 健活動での周 知	目標値	広報掲載（隔年）			a
		実績値	0回	1回	2回	
	マタニティマ ークを知って いる者の割合 ★	目標値	65%	－	70%	－
		実績値	72.9%	－	－	

◆総合評価

A	<判定理由> a：13個 b：1個 c：2個 <反省・短評> - 妊婦の喫煙率は低い値で経過しているものの、禁煙できずにいる妊婦も一定数存在しているという現状である。 - 今後も継続して、母子健康手帳交付時の指導や広報等で喫煙の害について周知していく。 - 産後保健師等からの指導やケアに満足している者の割合は微増している。妊娠届出時から機会を捉えて妊産婦や家族に寄り添い、不安を軽減できるよう今後も取り組んでいきたい。
---	---

＜施策領域＞

2 健康なからだ（発育・発達を支援します）

◆実績・評価

201 乳幼児の成長・発育を確認する						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①乳幼児の成長・発育が確認できる健康診査の受診を勧める。	3～4か月児健康診査受診率（個別）★	目標値	81.0%	81.5%	82.0%	a
		実績値	78.9%	78.1%	73.6%	
	1歳6か月児健康診査受診率★	目標値	95.0%	95.5%	96.0%	a
		実績値	98.7%	95.6%	96.3%	
	2歳児歯科健康診査受診率 ※1	目標値	95.5%	95.5%	96.0%	
		実績値				
	2歳6か月児歯科健康診査受診率 ※2	目標値	95.5%	95.5%	96.0%	
		実績値	(4・6月) 91.7%			
	2歳6か月児教室受診率	目標値	—	—	—	—
		実績値	(9～3月) 81.0%	92.1%	93.0%	
	3歳児健康診査受診率★	目標値	95.5%	96.0%	96.5%	a
		実績値	95.3%	95.3%	92.6%	
②発達確認シート（育ち桜）を活用し、乳幼児個々の発達を保護者が確認できるようにする。※3	発達確認シート使用割合（各健康診査時）	目標値	100%	100%	100%	
		実績値				
③健診未受診者に対して、電話や訪問・保育施設と連携し、保護者へ受診勧奨を行う。		目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	

※1 2歳児歯科健康診査は、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個別歯科健康診査としたことを受けて中止。

※2 2歳6か月児歯科健康診査は、令和2年4月・6月のみ集団で実施。以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

※3 発達確認シートは、新型コロナウイルス感染症対策のため各健康診査時での配布・回収を中止。以降は、BabyCome☆4～5か月広場で配布し保護者が発達を確認できるよう説明している。

202 病気や事故から子どもを守る						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①新生児訪問等で、 病気予防のための 知識、予防接種 の必要性、事故防 止（誤嚥、転落等） について情報提 供するとともに、 受動喫煙が子ど もの健康に及ぼ す影響について 周知する。	訪問による情報提供	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	
	母親の喫煙率 （3～4か月児健康 診査）★	目標値	0%	0%	0%	c
		実績値	4.3%	3.5%	1.7%	
	母親の喫煙率 （1歳6か月児健康 診査）★	目標値	7.0%	7.0%	6.5%	c
		実績値	8.4%	8.5%	7.8%	
	母親の喫煙率 （3歳児健康診査） ★	目標値	12.0%	12.0%	11.5%	a
		実績値	7.3%	9.6%	9.2%	
	父親の喫煙率 （3～4か月児健康 診査）★	目標値	43.0%	43.0%	42.5%	b
		実績値	38.6%	34.0%	27.6%	
②消防署と連携を 図り、救急救命 法の正しい知識 を普及する。 ※1	4～5か月広場での 実施回数	目標値	年 12 回	年 12 回	年 12 回	c
		実績値	0 回	0 回	0 回	

※1 令和元年度までは消防隊員による救急救命法の講話を実施していた。しかし、緊急出動等で対応が難しいこともあり、令和2年度からは保健師が事故予防に関する講話を実施。

203 健康なからだづくりを実践させる						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①集団健康診査で生活 リズムを確認し、規 則正しい生活を送る よう指導する。	3食食べている割合（1歳6か月児健康診査）	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	99.1%	99.4%	99.1%	
	3食食べている割合（3歳児健康診査）	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	97.7%	99.8%	99.2%	
	21 時台までに就寝している割合（1歳6か月児健康診査）	目標値	95%	95%	96%	a
		実績値	88.4%	91.7%	89.5%	
	21 時台までに就寝している割合（3歳児健康診査）	目標値	81%	82%	83%	a
		実績値	83.0%	81.2%	81.3%	

204 早期に適切な療育につなげる						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①発達や療育面の不安を個別に相談する機会を設定する。	個別相談回数	目標値	年 40 回	年 40 回	年 40 回	a
		実績値	年 34 回	年 31 回	年 36 回	
②発達や療育面に不安を抱える親子に対して個別支援を行う。	個別訪問・電話相談	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	
③支援が必要な事例について、関係機関と情報共有する場を設ける。	ケア会議の開催	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	
④必要に応じて早期に適切な療育が受けられるよう専門機関を紹介する。	岩手県立療育センター等の専門機関への紹介	目標値	随時紹介	随時紹介	随時紹介	—
		実績値	随時紹介	随時紹介	随時紹介	

205 子どもの心身の成長に応じた発達を見守る						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①子育て応援センター等や専門職種（心理判定員等）と連携し、親子の触れ合いや遊びを通じて、心身の発達に応じた保護者への関わりや、よりよい親子関係の確立が図られるように教室を開催する。 ※1	幼児教室の実施回数	目標値	年 20 回	年 20 回	年 20 回	c
		実績値	0回	年3回	年8回	
②幼児教室のスタッフ間の情報共有を図り、個々に応じた親子への関わりを継続していく。	関係機関部署や保育所等との連携	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
③関係部署や保育所等と連携し、保護者の悩みや不安を共有しながら、個々に応じた親子への支援を継続する。		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	

※1 令和2年度の幼児教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。令和3年度以降は、感染症対策を行いながら実施。

206 歯の大切さを伝えてむし歯を予防する						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①幼児と保護者に正しいブラッシング指導を行う。	毎日仕上げみがきをする親の割合 (1歳6か月児歯科健康診査)★	目標値	79.0%	80.0%	81.0%	a
		実績値	72.9%	72.9%	78.2%	
	毎日仕上げみがきをする親の割合 (3歳児歯科健康診査)★	目標値	83.0%	84.0%	85.0%	a
		実績値	85.1%	86.0%	83.0%	
	むし歯のない3歳児の割合★	目標値	87.0%	88.0%	89.0%	a
		実績値	89.8%	89.8%	90.2%	
②飲み物やおやつの砂糖含有量を示した媒体を活用し、食生活の見直しができるよう指導する。	毎日ジュース・乳酸飲料水などを飲む (3歳児歯科健康診査)	目標値	15.0%以下	15.0%以下	15.0%以下	c
		実績値	25.0%	27.1%	29.5%	
	毎日お菓子を食べる(3歳児歯科健康診査)	目標値	15.0%以下	15.0%以下	15.0%以下	c
		実績値	20.8%	18.3%	21.5%	
③幼児健康診査において歯科衛生士による集団健康教育を実施する。※1	集団健康教育実施回数	目標値	6回	6回	6回	c
		実績値	0回	0回	0回	
④妊婦歯科健康診査を実施し、むし歯、歯周疾患の予防、早期発見を図る。	妊産婦歯科健康診査受診率※2	目標値	30.0%	30.0%	30.0%	a
		実績値	46.6%	43.0%	52.0%	

※1 幼児歯科健康診査は令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個別健康診査へ移行

※2 受診率 = 年度内受診者数 ÷ 年度内に妊婦一般健康診査受診券を交付した妊婦数

◆総合評価

A	<判定理由> a : 16 個 b : 1 個 c : 7 個
	<反省・短評> ・新型コロナウイルス感染症の流行を受け、事業内容等に変更が生じたことから評価できない項目もあるが、感染症対策を講じ事業を実施した。 ・1歳6か月児健康診査、2歳6か月児教室、3歳児健康診査の受診率は90%以上となっている。一方、個別健康診査の受診率は減少していることから、適切な時期に健康診査を受けられるよう受診勧奨していく必要がある。 ・母親の喫煙率は減少傾向であるが一定数喫煙者はいることから、受動喫煙の健康に及ぼす影響について周知が必要である。 ・甘い飲み物や食べ物を食べる幼児が多く、虫歯や肥満の危険性についてさらに周知する必要がある。

＜施策領域＞

3 楽しい子育て（子育てを支援します）

◆実績・評価

301 育児への悩みや不安等への対応						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①相談窓口の周知を図る。	子育てで困ったときに相談できる窓口を知っている割合	目標値	70.0%	73.0%	76.0%	a
		実績値	65%	66.7%	72.2%	
②産婦・乳幼児訪問や健診等で、育児不安や悩み等を傾聴し、支援を行う。	育児不安や悩み等への支援	目標値	随時対応	随時対応	随時対応	—
		実績値	随時対応	随時対応	随時対応	
③育てにくさを感じる保護者への支援。	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合★	目標値	95%	95%	95%	b
		実績値	85.2%	82.6%	73.7%	
④関係機関との情報共有を図り、一貫した支援を心がける。	関係機関との共有	目標値	随時対応	随時対応	随時対応	—
		実績値	随時対応	随時対応	随時対応	

302 正しい育児の知識や育児支援サービスの周知						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
① 育児の知識や情報を取得できる機会を提供する。	広報や乳幼児事業での周知	目標値	年1回	年1回	年1回	a
		実績値	年12回	年12回	年12回	
②町の子育て支援事業・サービスについて周知する。	「BirthBook」等を活用し子育て支援事業・サービスについて説明をした割合	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	94.8%	95.6%	96.6%	
③離乳食開始時期に合わせた教室を開催し、離乳食の味や進め方を正しく理解させる。	離乳食の理解ができた割合	目標値	98.0%	98.0%	98.0%	a
		実績値	93.9%	97.8%	100%	

303 保護者への支援						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①育児の困難さにつながる背景（病気・介護・経済的困難・DV等）に寄り添い、適切な支援を行う。	保護者への早期支援	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	—
		実績値	随時支援	随時支援	随時支援	
②関係機関や部署と連携し、心身のストレスが軽減されるよう、サービスの情報など提供する。	関係機関や部署との連携	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合★	目標値 (3-4か月)	87.0%	87.0%	87.5%	a
		実績値	87.8%	89.6%	92.7%	
		目標値 (1歳6か月)	73.0%	73.5%	74.0%	a
		実績値	72.9%	76.8%	76.5%	
		目標値 (3歳)	66.0%	66.5%	67.0%	a
		実績値	71.0%	72.0%	69.2%	

304 児童虐待の早期発見と早期支援						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①出産後、連絡の取れない保護者に対して状況把握に努める。	全戸赤ちゃん訪問の実施率★	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	94.8%	95.6%	96.6%	
②健康診査未受診者の家庭に電話又は訪問し、受診勧奨を行う。	健診未受診者の把握率	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	
③関係部署や機関と連携しながら支援を行う。	関係部署や機関と連携し支援を行った件数	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	—
		実績値	随時支援	随時支援	随時支援	

305 地域で子育てしやすい環境を整える						
取り組み	確認指標		R2	R3	R4	評価
①地域の子育て資源についての情報発信（担当課のこども課と連携する） ②ニーズの把握をし、関係部署との間で課題や情報共有を図る。	連携事業の回数	目標値	47回	47回	47回	b
		実績値	20回	21回	29回	
	関係機関との情報交換会の回数※1	目標値	1回	1回	1回	c
		実績値	0回	0回	0回	
	この地域で今後も子育てをしたいと思う割合★	目標値	96%	96%	97%	a
		実績値	95.5%	96.4%	95.9%	

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から開催を見合わせている。

◆総合評価

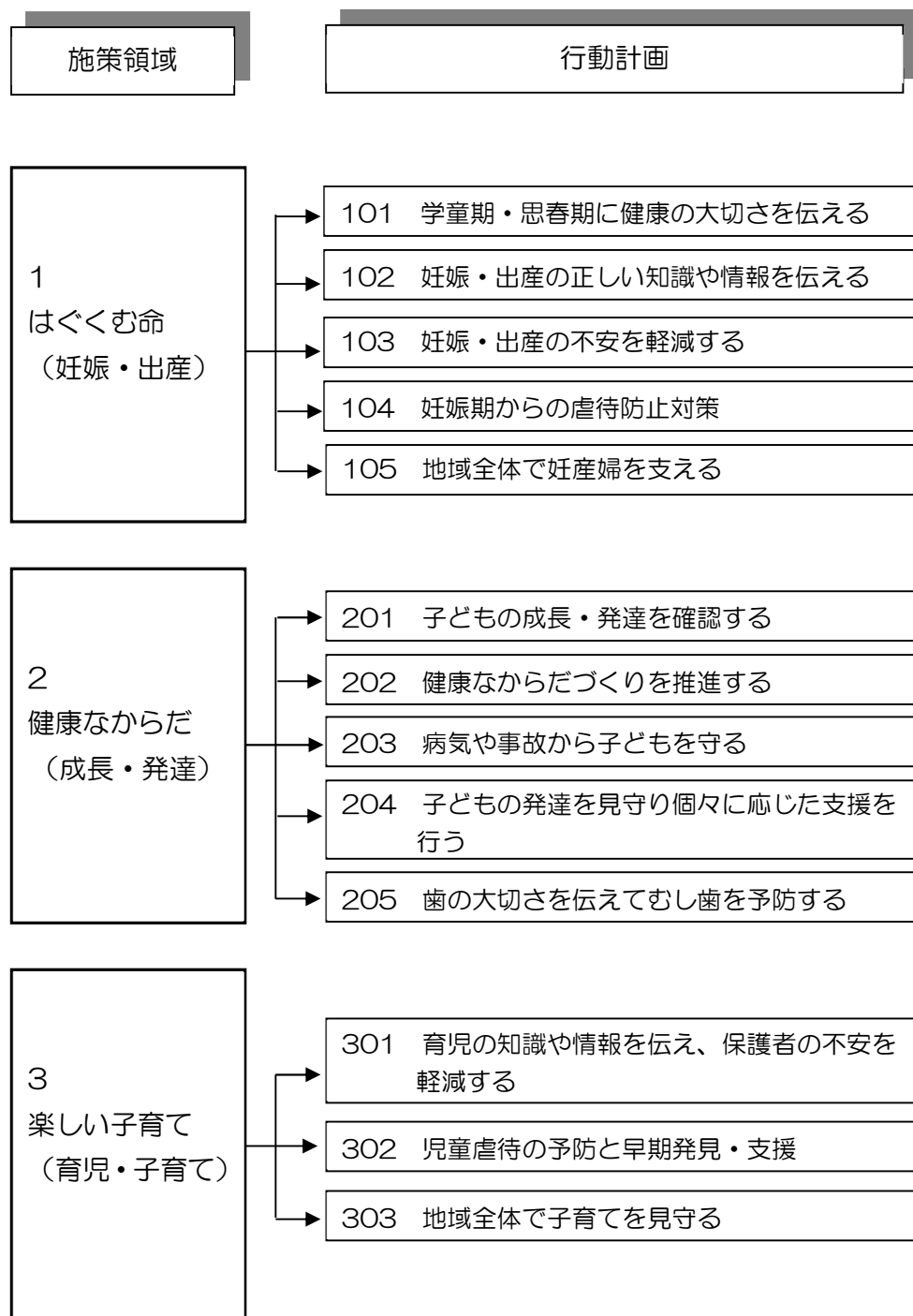
A	<判定理由> a : 10個 b : 2個 c : 1個
	<反省・短評> - 赤ちゃん訪問で「BirthBook」等を活用し、町の子育て支援事業や相談窓口の周知を行った。育てにくさを感じた時に対処できる親の割合が減少しており、育児の悩みや不安の軽減が図れるように、正しい知識の普及や相談窓口の周知を更に行っていく必要がある。 - 新型コロナウイルス感染症流行の影響から、地域の子育て資源について情報発信する機会が減少した。地域で子育てしやすい環境を整えるため、機会を捉えた情報発信やニーズの把握、課題の共有を図っていきたい。

IV 施策の展開

1 施策の体系

本計画では、紫波町総合計画の健康・安心分野に掲げる「妊娠期から子育て期まで安心して過ごすことができ、子どもが健やかに成長する」という目的の達成に向けて、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する体制づくりを推進します。

施策を3つの領域に分け、それぞれの領域に具体的な行動計画を定めました。



2 実施施策

★…健やか親子21（第2次）の指標
 ☆…成育基本法の指標
 基準値…R2～R4の平均値

＜施策領域＞ 1 はぐくむ命（妊娠・出産を支援します）

＜目指す姿＞ 妊娠・出産について正しい知識を持ち、健康管理できる。
 安心して出産し、産後すこやかに過ごすことが出来る。

＜行動計画＞ 101 学童期・思春期に健康の大切さを伝える

◆具体的な取り組み

①関係機関と連携し、学童期・思春期の健康課題について現状を把握する。						
②生活習慣病の予防や健康の大切さを伝える。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①学校保健統計調査による現状把握	—	年2回 (上半期・下半期)				学校保健統計調査確認回数
②リーフレット配布回数 (予防接種の案内に合わせた配布)	—	年1回				配布した回数

◆実施事業

・学校保健会 ・予防接種事業 ・健康教育

＜行動計画＞ 102 妊娠・出産の正しい知識や情報を伝える

◆具体的な取り組み

①早めに妊娠届出をするために普及啓発をする。

②喫煙や飲酒が妊娠・出産に与える影響について周知する。

③規則正しい、バランス良い食習慣の大切さについて啓発する。

④妊婦健康診査を定期的に受診することの大切さについて伝える。

⑤妊産婦及び家族に喫煙の影響について伝える。

⑥妊婦・家族が妊娠・出産の正しい知識を持ち、主体的に育児ができるよう支援する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①妊娠 11 週以内の妊娠届出の割合☆	93.3%	前年度より増加			98.5%	母子健康手帳交付週数
②妊婦の喫煙率★☆☆	0.68%	0%				母子健康手帳交付時の喫煙状況
③④ 母子健康手帳交付時の面談指導人数	交付者全員	交付者全員				母子健康手帳交付時面談指導人数
⑤妊娠届出後の禁煙成功率	11.1%	100%				禁煙指導台帳
⑥親になる心の準備ができたと感じる人の割合	妊婦 100% 夫 96.3%	妊婦 100% 夫 97%				パパママ教室アンケート

◆実施事業

- ・母子健康手帳の交付
- ・妊産婦保健指導
- ・伴走型相談支援事業（面談）
- ・妊婦一般健康診査（個別健康診査）受診票交付
- ・妊産婦医療費受給者証交付
- ・妊産婦への家庭訪問
- ・保健指導（エジンバラ産後うつ病質問票を使用）
- ・妊婦への禁煙指導や健康教育
- ・パパママ教室（知識普及、保健指導）

＜行動計画＞ 103 妊娠・出産の不安を軽減する

◆具体的な取り組み

①妊娠届出時に面談を行い、妊婦の身体的・精神的・社会的状況を把握する。 ②産前産後のメンタルヘルスについてや相談窓口を周知する。 ③妊娠中から産後にかけて継続的な相談支援を行い、必要な支援につなぐ。 ④特定妊婦及びエジンバラ産後うつ病質問票において支援が必要な産婦に対し早期訪問を行う。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①②母子健康手帳交付時の面談指導人数	交付者全員	交付者全員				母子健康手帳交付時面談指導人数
③妊娠 8 か月頃の妊婦の状況把握率	—	100%				アンケートまたは電話や面談による把握件数／母子健康手帳交付者数
③産後保健師等からの指導やケアに満足している者の割合	93%	95%				3～4か月児健康診査票
④エジンバラ産後うつ病質問票実施割合	100%	100%				全産婦のうちエジンバラ産後うつ病質問票を実施した割合
④医療機関からケース連絡があった産婦への早期訪問割合	—	100%				産後 1 か月中の訪問件数／ケース連絡件数

◆実施事業

- ・母子健康手帳の交付
- ・妊娠 SOS 相談
- ・マタニティほっと相談
- ・子育てほっと相談
- ・BabyCome☆4～5 か月広場
- ・パパママ教室（知識普及、保健指導）
- ・伴走型相談支援事業（面談、妊娠 8 か月アンケート）
- ・妊産婦への家庭訪問
- ・保健指導（エジンバラ産後うつ病質問票を使用）

<母子健康手帳交付時の様子>



<パパママ教室の様子>



<行動計画> 104 妊娠期からの虐待防止対策

◆具体的な取り組み

- ①妊娠届出時の面談において、支援が必要な妊婦やその家族を把握し継続支援する。
- ②関係機関と連携しながら支援方法を検討する。
- ③相談窓口を周知する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①特定妊婦への支援プランを作成した割合	—	100%				特定妊婦のうち支援プランを作成した人の割合
②要保護児童対策地域協議会出席率	—	100%				要保護児童対策地域協議会出席率
③母子健康手帳交付時のセルフプラン配布率	—	100%				母子健康手帳交付時のセルフプラン配布率

◆実施事業

- ・母子健康手帳の交付
- ・妊娠 SOS 相談
- ・マタニティほっと相談
- ・子育てほっと相談
- ・BabyCome☆4～5 か月広場
- ・パパママ教室（知識普及、保健指導）
- ・伴走型相談支援事業（面談、妊娠 8 か月アンケート）
- ・妊産婦への家庭訪問
- ・保健指導（エジンバラ産後うつ病質問票を使用）
- ・要保護児童対策地域協議会

特定妊婦とは？

出産後の子どもの養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦のことをいう。

妊娠中に家庭環境にリスクを抱えており、複雑な家庭内事情を持っている場合など、育児が困難と予想される。

- ・若年妊娠や望まない妊娠
- ・飛び込み出産
- ・未婚でシングルマザー
- ・妊婦健康診査を受けていない
- ・知的障がいや精神障がいがある

出典：厚生労働省用語解説

＜行動計画＞ 105 地域全体で妊産婦を支える

◆具体的な取り組み

- ①地域の子育て支援に関する団体と情報共有を行う。
 ②子育て広場に出向き、参加者や地域の支援者に町の事業紹介や相談窓口を周知する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①意見交換会開催回数	—	年 1 回				意見交換会 開催回数
②子育て支援広場での周知回数	—	各箇所 1 回	各箇所 2 回			周知回数

◆実施事業

- ・意見交換会 ・健康教育 ・子育て支援広場
- ・地域子育て支援拠点事業（子育て応援センター、子育て支援センター）

【意見交換会での意見】

子育て支援に関わる関係機関の方との意見交換を行いました。そのうちのいくつかの意見をご紹介します。

「つながる」ということが1番大事であると思う。困ったときだけでなく、普段から誰かと誰かがつながっていることが大事である。

横のつながりを広げていくのがなかなか難しいと感じている。保護者同士が友達になれるように仲介する手助けを今後も続けていきたい。小さい子どもを見て、可愛い等の感情を持てる環境を作っていくことも必要と考える。

相談を受けた際に、自分ひとりでは解決できないので、相談・連携しながらできることをしていきたい。

保護者に相談場所があることを様々な機関で周知してもらいたい。

子どもの居場所・食事を確保する事業など増えて行けばよい。



<施策領域> 2 健康なからだ（成長・発達を支援します）

<目指す姿> 適正な時期に健康診査を受け、子どもの成長を知ることができる。
子どもが健やかに成長するための知識や習慣を身につけることができる。

<行動計画> 201 子どもの成長・発達を確認する

◆具体的な取り組み

- ①適正な時期に乳幼児健康診査を受診できるよう、情報提供と受診勧奨を行う。
- ②子どもの成長・発達が確認できる広場や教室の参加を勧める。
- ③健康診査未受診者に対して、電話・訪問や保育施設と連携し、保護者への受診勧奨を行う。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①3～4 か月児健康診査受診率（個別）★	76.9%	100%				受診児数／対象児数
①1歳6か月児健康診査受診率★	96.9%	100%				//
①3歳児健康診査受診率★	94.7%	100%				//
②BabyCome☆4～5か月広場参加率	71.0%	前年度より増加				参加児数／対象児数
②2歳6か月児教室参加率	88.7%	前年度より増加				//
③1歳6か月児健康診査未受診者の受診率	67.5%	100%				法定年齢中の受診者数（1歳6か月児健康診査）／未受診者
③3歳児健康診査未受診者の受診率	64.1%	100%				法定年齢中の受診者数（3歳児健康診査）／未受診者

◆実施事業

- ・「BirthBook」配布 ・乳児訪問 ・乳児一般健康診査（個別健康診査）
- ・BabyCome☆4～5か月広場 ・2歳6か月児教室 ・子育てほっと相談
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）

<健康診査の診察の様子>



<行動計画> 202 健康なからだづくりを推進する

◆具体的な取り組み

①成長に合わせた食事の進め方や、規則正しい食習慣の大切さについて伝える。 ②規則正しい睡眠の大切さについて伝える。 ③電子メディアの正しい利用の仕方について伝える。 ④集団健康診査で子どもの生活習慣について保護者と確認・共有する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①離乳食についての理解ができた割合	97.2%	100%				BabyCome☆4～5か月広場アンケート
①3食食べている割合 (1歳6か月児健康診査)	99.2%	100%				1歳6か月児健康診査問診票
①3食食べている割合 (3歳児健康診査)	99.6%	100%				3歳児健康診査「歯と食事の問診票」
②21時台までに就寝している割合 (1歳6か月児健康診査)	89.9%	90%	91%	92%	93%	1歳6か月児健康診査問診票
②21時台までに就寝している割合 (3歳児健康診査)	81.8%	82%	83%	84%	85%	3歳児健康診査「歯と食事の問診票」
③テレビの視聴時間が2時間以内の割合 (1歳6か月児健康診査)	82.9%	83%	84%	85%	86%	1歳6か月児健康診査問診票
③テレビの視聴時間が2時間以内の割合 (3歳児健康診査)	40.8%	41%	42%	43%	44%	3歳児健康診査問診票
④健康診査が生活習慣を見直す機会となった者の割合 (1歳6か月児健康診査)	89%	90%				1歳6か月児健康診査会場アンケート
④健康診査が生活習慣を見直す機会となった者の割合 (3歳児健康診査)	89.5%	90%				3歳児健康診査会場アンケート

◆実施事業

- ・ BabyCome☆4～5か月広場 ・ 2歳6か月児教室
- ・ 子育てほっと相談 ・ 離乳食教室
- ・ 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）

<行動計画> 203 病気や事故から子どもを守る

◆具体的な取り組み

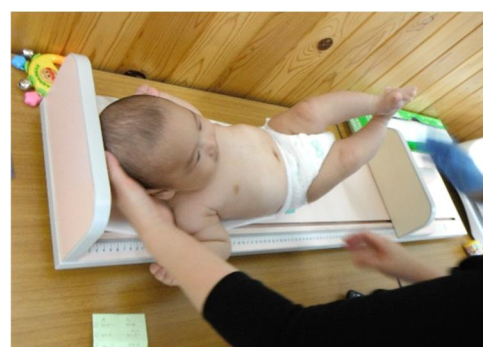
- ①病気予防のための知識、予防接種の必要性、事故予防（誤嚥・転落等）の大切さについて伝える。
- ②受動喫煙が子どもの健康に及ぼす影響について周知する。
- ③小児の救急救命法の正しい知識を普及する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①訪問により情報提供した割合	100%	100%				情報提供件数／訪問件数
②母親の喫煙率★ （3～4か月児健康診査）	3.2%	0%				3～4か月児健康診査票
②母親の喫煙率★ （1歳6か月児健康診査）	8.2%	4%				健やか親子21アンケート
②母親の喫煙率★ （3歳児健康診査）	8.7%	4%				健やか親子21アンケート
②父親の喫煙率★ （3～4か月児健康診査）	33.4%	20%				3～4か月児健康診査票
②父親の喫煙率★ （1歳6か月児健康診査）	40.2%	20%				健やか親子21アンケート
②父親の喫煙率★ （3歳児健康診査）	44.1%	20%				健やか親子21アンケート
③救急救命法の周知回数	年12回	年12回				周知回数 （BabyCome ☆4～5か月広場）

◆実施事業

- ・乳児訪問 ・子育てほっと相談
- ・BabyCome☆4～5か月広場 ・2歳6か月児教室
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）

<読み聞かせボランティアによる読み聞かせの様子> <計測の様子>



<行動計画> 204 子どもの発達を見守り個々に応じた支援を行う

◆具体的な取り組み

①発達や療育面の不安を個別に相談する機会を設定する。

②発達や療育面に不安を抱える親子、支援が必要な親子に対して個別支援を行う。

③親子の触れ合いや遊びを通じて、心身の発達に応じた保護者への関わりや、よりよい親子関係の確立が図れるような場を設定する。

④関係機関と連携し保護者の悩みや不安を共有しながら、個々に応じた親子への支援を継続する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①個別発達相談設定日数	34 日	年 40 日				個別発達相談設定日数
②家庭訪問・電話相談・来庁相談での対応	随時実施	随時実施				相談対応把握表
③幼児教室の設定回数	4回	年 12 回				幼児教室の設定回数
④関係機関との連携	随時実施	随時実施				相談対応把握表 （こども課、保育所、児童発達支援事業所、医療機関）

◆実施事業

- ・ 個別発達相談
- ・ 家庭訪問 ・ 電話相談 ・ 来庁相談
- ・ 子育てほっと相談 ・ 幼児教室
- ・ こどもセンター「育ちの相談」
- ・ こどもサポート会議

＜行動計画＞ 205 歯の大切さを伝えてむし歯を予防する

◆具体的な取り組み

- ①個別歯科健康診査の受診を勧める。
 ②幼児と保護者に正しい歯磨き習慣について伝える。
 ③飲み物やおやつので砂糖含有量を示した媒体を活用し、食生活の見直しができるよう指導する。
 ④妊娠期からむし歯、歯周疾患の予防等、口腔衛生の知識を普及する。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
① 1歳6か月児歯科健康診査受診率	87.1%	88%	89%	90%	91%	1歳6か月児歯科健康診査統計
① 3歳児歯科健康診査受診率	81.3%	82%	83%	84%	85%	3歳児歯科健康診査統計
②毎日仕上げみがきをする親の割合（1歳6か月児健康診査）★☆☆	74.7%	80%				健やか親子 21 アンケート
②毎日仕上げみがきをする親の割合（3歳児健康診査）★☆☆	84.7%	85%				健やか親子 21 アンケート
②むし歯のない3歳児の割合★☆☆	89.9%	95%				3歳児歯科健康診査統計
③毎日ジュース・乳酸飲料水などを飲む割合	27.2%	25%以下				3歳児健康診査歯と食事に関する問診票
③毎日甘いお菓子を食べる割合	20.2%	18%以下				3歳児健康診査歯と食事に関する問診票
④妊婦歯科健康診査受診率☆	47.2%	48%	49%	50%	51%	歯科健康診査受診者数／受診券交付者数

◆実施事業

- ・ 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）
- ・ 2歳6か月児教室
- ・ 幼児歯科健康診査（個別健康診査）
- ・ 妊婦歯科健康診査（個別健康診査）

<施策領域> 3 楽しい子育て（子育てを支援します）

<目指す姿> 保護者が正しい知識を持ち、困った時に支援を受けながら安心して子育てできる。

<行動計画> 301 育児の知識や情報を伝え、保護者の不安を軽減する

◆具体的な取り組み

①育児の知識や情報を周知する。						
②相談窓口を周知する。						
③産婦・乳幼児訪問、健診等で育児不安や悩み等を傾聴し、支援する。						
④保護者の心身の状態に合わせた休息やストレスの軽減が図れるよう支援する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R 6	R 7	R 8	R 9	
①広報等の掲載回数	—	年4回				広報等の掲載回数（育児について）
②乳児訪問実施率	95.7%	100%				紫波町母子保健事業報告
②子育てで困った時に相談できる窓口を知っている割合	67.9%	73%				1歳6か月児健康診査問診票
③産後、保健師等からの指導やケアに満足している者の割合	93%	95%				3～4か月児健康診査票
③育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 ★☆☆	80.5%	95%				3～4か月児健康診査票、健やか親子 21 アンケート（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）平均値
④ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合★☆☆	3～4か月児 90%	92%				3～4か月児健康診査票
	1歳6か月児 75.4%	85%				健やか親子 21 アンケート
	3歳児 70.7%	75%				健やか親子 21 アンケート
④産後ケアの周知人数	—	母子健康手帳交付者全員				母子健康手帳交付時面談人数

◆実施事業

- ・産婦訪問
- ・乳幼児訪問
- ・子育てほっと相談
- ・BabyCome☆4～5か月広場
- ・2歳6か月児教室
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）
- ・個別発達相談
- ・幼児教室
- ・こどもセンター（育ちの相談）
- ・こどもサポート会議
- ・要保護児童対策地域協議会

<行動計画> 302 児童虐待の予防と早期発見・支援

◆具体的な取り組み

①育児の困難さにつながる背景に寄り添い、妊娠期から継続した支援を行う。						
②健康診査未受診者に対して、電話や家庭訪問で受診勧奨及び状況把握を行う。						
③関係機関と連携し、保護者の悩みや不安を共有しながら個々に応じた親子への支援を継続する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R 6	R 7	R 8	R 9	
①育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 ★☆☆	80.5%	95%				3～4か月児健康診査票、健やか親子 21 アンケート（1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査）平均値
②健診未受診者の状況を把握した割合	—	100%				1 歳 6 か月児・3 歳児健康診査 2 回以上未受診者のうち状況を把握した者の割合
③関係機関と連携し支援を行った件数	—	随時支援				相談対応把握表（こども課、保育所、児童発達支援事業所、医療機関）

◆実施事業

- ・伴走型相談支援事業
- ・産婦訪問
- ・乳幼児訪問
- ・子育てほっと相談
- ・BabyCome☆4～5か月広場
- ・2歳6か月児教室
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）
- ・個別発達相談
- ・幼児教室
- ・こどもセンター（育ちの相談）
- ・こどもサポート会議
- ・要保護児童対策地域協議会

<行動計画> 303 地域全体で子育てを見守る

◆具体的な取り組み

①現在の子育てについてや地域の資源を周知する。						
②地域の子育て支援に関する団体と情報共有を行う。						
③子育て広場に出向き、参加者や地域の支援者に町の事業紹介や相談窓口を周知する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
		R6	R7	R8	R9	
①広報等の掲載回数	—	年1回				広報等の掲載回数
②意見交換会開催回数	—	年1回				意見交換会開催回数
③子育て支援広場での周知回数	—	各箇所1回	各箇所2回			周知回数
①②③ この地域で今後も子育てをしたいと思う割合 ★☆☆	95.9%	97%				3～4か月児健康診査票、健やか親子21アンケート（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）平均値

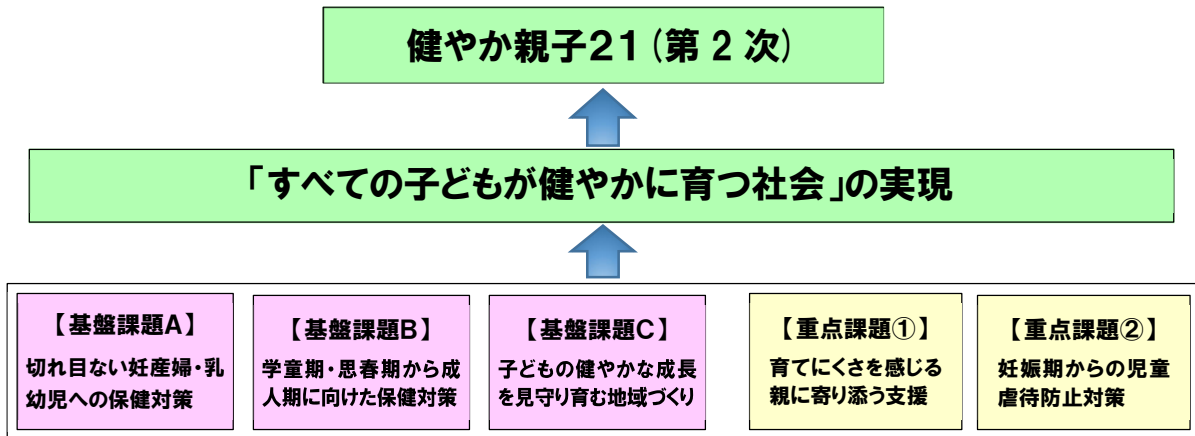
◆実施事業

- ・意見交換会 ・健康教育 ・子育て支援広場
- ・地域子育て支援拠点事業（子育て応援センター、虹の保育園子育て支援センター）
- ・子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

V 計画の推進

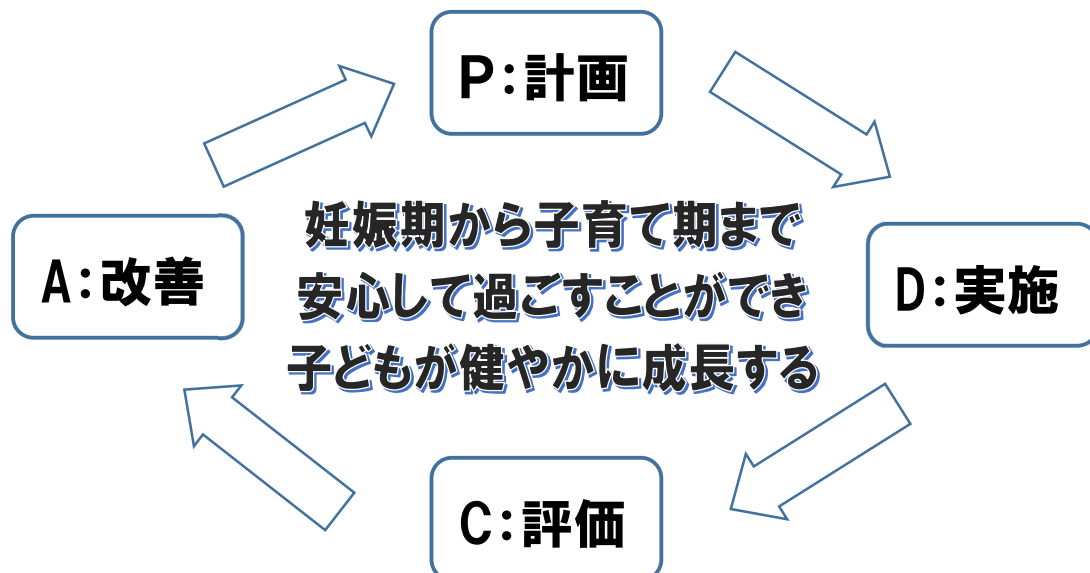
1 計画に取り組む視点

紫波町の母子保健の取り組みは、国民運動である「健やか親子21（第2次）」の基盤課題と重点課題に沿って事業を展開します。



2 計画の推進方法

計画の推進は、常に「計画（Plan）」→「実施（Do）」→「検証・評価（Check）」→「改善（Action）」のサイクルで実施します。



3 計画の評価

毎年度、確認指標をもとに取り組み状況をまとめ、行動計画の進捗を把握します。最終年度には下記の方法で到達度を判定し、領域の総合評価を行います。

【評価の判定基準】

(1) 施策の評価

評価判定	到達度	評価基準
a	100 以上	目標達成
b	50 以上 100 未満	目標未達成（改善）
c	0 超え 50 未満	目標未達成（やや改善）
d	0 以下	目標未達成（変化なし・悪化）
—	評価不能	

＜到達度の算出方法＞

- ・基準値よりも実績値を上げる指標の場合

$$(\text{実績値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値}) \times 100\%$$
- ・基準値よりも実績値を下げる指標の場合

$$(\text{基準値} - \text{実績値}) / (\text{基準値} - \text{目標値}) \times 100\%$$
- ・基準値：令和2年度から令和4年度までの平均値
- ・実績値：令和8年度の実績値
- ・目標値：令和8年度の目標値

（計画の最終年度は令和9年度だが、評価は令和8年度の実績に基づき行うため）

(2) 領域の総合評価

評価判定	評価基準
A	aが半数以上
B	b以上が半数以上
C	c以上が半数以上
D	d以上が半数以上

※「評価不能」は、総合評価に含まない。

【第七次紫波町母子保健計画 確認指標と目標値】

行動計画	確認指標	基準値 (R2～R4 平均値)	目標値 (R9)	確認方法
101	学校保健統計調査による現状把握	-	年 2 回 (上半期・下半期)	学校保健統計調査確認回数
101	リーフレットの配付回数	-	年 1 回	配付した回数
102	妊娠 11 週以内の妊娠届出の割合	93.3%	R6-R8 前年度より増加 R9 98.5%	母子健康手帳交付週数
102	妊婦の喫煙率	0.68%	0%	母子健康手帳交付時の喫煙状況
102	母子健康手帳交付時の面談指導人数	交付者全員	交付者全員	母子健康手帳交付時面談指導人数
102	妊娠届出後の禁煙成功率	11.1%	100%	禁煙指導台帳
102	親になる心の準備ができたと感じる人の割合	妊婦 100% 夫 96.3%	妊婦 100% 夫 97%	パパママ教室アンケート
103	母子健康手帳交付時の面談指導人数	交付者全員	交付者全員	母子健康手帳交付時面談指導人数
103	妊娠 8 か月頃の妊婦の状況把握率	—	100%	アンケートまたは電話や面談による把握件数／母子健康手帳交付者数
103	産後保健師等からの指導やケアに満足している者の割合	93%	95%	3～4 か月児健康診査票
103	エジンバラ産後うつ病質問票実施割合	100%	100%	全産婦のうちエジンバラ産後うつ病質問票を実施した割合
103	医療機関からケース連絡があった産婦への早期訪問割合	—	100%	産後 1 か月中の訪問件数／ケース連絡件数
104	特定妊婦への支援プランを作成した割合	—	100%	特定妊婦のうち支援プランを作成した人の割合
104	要保護児童対策地域協議会出席率	—	100%	要保護児童対策地域協議会出席率
104	母子健康手帳交付時のセルフプラン配布率	—	100%	母子健康手帳交付時のセルフプラン配布率
105	意見交換会開催回数	—	年 1 回	意見交換会開催回数
105	子育て支援広場での周知回数	—	R6 各箇所 1 回 R7-R9 各箇所 2 回	周知回数
201	3～4 か月児健康診査受診率（個別）	76.9%	100%	受診児数／対象児数
201	1 歳 6 か月児健康診査受診率	96.9%	100%	//
201	3 歳児健康診査受診率★	94.7%	100%	//
201	BabyCome☆4～5 か月広場参加率	71.0%	前年度より増加	参加児数／対象児数
201	2 歳 6 か月児教室参加率	88.7%	前年度より増加	//
201	1 歳 6 か月児健康診査未受診者の受診率	67.5%	100%	法定年齢中の受診者数（1 歳 6 か月児健康診査）／未受診者
201	3 歳児健康診査未受診者の受診率	64.1%	100%	法定年齢中の受診者数（3 歳児健康診査）／未受診者
202	離乳食についての理解ができた割合	97.2%	100%	BabyCome☆4～5 か月広場アンケート
202	3 食食べている割合（1 歳 6 か月児健康診査）	99.2%	100%	1 歳 6 か月児健康診査問診票
202	3 食食べている割合（3 歳児健康診査）	99.6%	100%	3 歳児健康診査「歯と食事の問診票」

行動計画	確認指標	基準値 (R2～R4 平均値)	目標値 (R9)	確認方法
202	21 時台までに就寝している割合 (1 歳 6 か月児健康診査)	89.9%	R6-90%、R7-91%、R8-92%、R9-93%	1 歳 6 か月児健康診査問診票
202	21 時台までに就寝している割合 (3 歳児健康診査)	81.8%	R6-82%、R7-83%、R8-84%、R9-85%	3 歳児健康診査「歯と食事の問診票」
202	テレビの視聴時間が 2 時間以内の割合 (1 歳 6 か月児健康診査)	82.9%	R6-83%、R7-84%、R8-85%、R9-86%	1 歳 6 か月児健康診査問診票
202	テレビの視聴時間が 2 時間以内の割合 (3 歳児健康診査)	40.8%	R6-41%、R7-42%、R8-43%、R9-44%	3 歳児健康診査問診票
202	健康診査が生活習慣を見直す機会となった者の割合 (1 歳 6 か月児健康診査)	89%	90%	1 歳 6 か月児健康診査会場アンケート
202	健康診査が生活習慣を見直す機会となった者の割合 (3 歳児健康診査)	89.5%	90%	3 歳児健康診査会場アンケート
203	訪問により情報提供した割合	100%	100%	情報提供件数／訪問件数
203	母親の喫煙率 (3～4 か月児健康診査)	3.2%	0%	3～4 か月児健康診査票
203	母親の喫煙率 (1 歳 6 か月児健康診査)	8.2%	4%	健やか親子 21 アンケート
203	母親の喫煙率 (3 歳児健康診査)	8.7%	4%	健やか親子 21 アンケート
203	父親の喫煙率 (3～4 か月児健康診査)	33.4%	20%	3～4 か月児健康診査票
203	父親の喫煙率 (1 歳 6 か月児健康診査)	40.2%	20%	健やか親子 21 アンケート
203	父親の喫煙率 (3 歳児健康診査)	44.1%	20%	健やか親子 21 アンケート
203	救急救命法の周知回数	年 12 回	年 12 回	周知回数 (BabyCome☆4～5 か月広場)
204	個別発達相談設定日数	34 日	年 40 日	個別発達相談設定日数
204	家庭訪問・電話相談・来庁相談での対応	随時実施	随時実施	相談対応把握表
204	幼児教室の設定回数	4 回	年 12 回	幼児教室の設定回数
204	関係機関との連携	随時実施	随時実施	相談対応把握表 (こども課、保育所、児童発達支援事業所、医療機関)
204	1 歳 6 か月児歯科健診受診率	87.1%	R6-88%、R7-89%、R8-90%、R9-91%	1 歳 6 か月児歯科健康診査統計
204	3 歳児歯科健康診査受診率	81.3%	R6-82%、R7-83%、R8-84%、R9-85%	3 歳児歯科健康診査統計
204	毎日仕上げみがきをする親の割合 (1 歳 6 か月児健康診査)	74.7%	80%	健やか親子 21 アンケート
204	毎日仕上げみがきをする親の割合 (3 歳児健康診査)	84.7%	85%	健やか親子 21 アンケート
204	むし歯のない 3 歳児の割合	89.9%	95%	3 歳児歯科健康診査統計
204	毎日ジュース・乳酸飲料水などを飲む割合	27.2%	25%以下	3 歳児健康診査 歯と食事に関する問診票
204	毎日甘いお菓子を食べる割合	20.2%	18%以下	3 歳児健康診査 歯と食事に関する問診票
204	妊婦歯科健康診査受診率	47.2%	R6-48%、R7-49%、R8-50%、R9-51%	歯科健康診査受診者数／受診券交付者数

行動計画	確認指標	基準値 (R2～R4 平均値)	目標値 (R9)	確認方法
301	広報等の掲載回数	—	年 4 回	広報等の掲載回数（育児について）
301	乳児訪問実施率	95.7%	100%	紫波町母子保健事業報告
301	子育てで困った時に相談できる窓口を知っている割合	67.9%	73%	1歳6か月児健康診査問診票
301	産後、保健師等からの指導やケアに満足している者の割合	93%	95%	3～4か月児健康診査票
301	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	80.5%	95%	3～4か月児健康診査票、健やか親子 21 アンケート（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）平均値
301	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3-4 か月児-90%	92%	3～4か月児健康診査票
		1歳6か月児-75.4%	85%	健やか親子 21 アンケート
		3-4 か月児-70.7%	75%	健やか親子 21 アンケート
301	産後ケアの周知人数	—	母子健康手帳交付者全員	母子健康手帳交付時面談人数
302	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	80.5%	95%	3～4か月児健康診査票、健やか親子 21 アンケート（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）平均値
302	健診未受診者の状況を把握した割合	—	100%	1歳6か月児・3歳児健康診査2回以上未受診者のうち状況を把握した者の割合
302	関係機関と連携し支援を行った件数	—	随時支援	相談対応把握表（こども課、保育所、児童発達支援事業所、医療機関）
303	広報等の掲載回数	—	年 1 回	広報等の掲載回数
303	意見交換会開催回数	—	年 1 回	意見交換会開催回数
303	子育て支援広場での周知回数	—	R6 各箇所 1 回 R7-R9 各箇所 2 回	周知回数
303	この地域で今後も子育てをしたいと思う割合	95.9%	97%	3～4か月児健康診査票、健やか親子 21 アンケート（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）平均値

資 料 編

紫波町元気はつらつ委員名簿	-----	1
母子保健に関するアンケート調査結果	-----	2 ～ 9
第七次母子保健計画策定経過	-----	10

紫波町元気はつらつ委員

紫波町元気はつらつ委員会設置要綱により、母子保健計画の策定に関することについて審議しています。

(任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日)

氏 名	役 職 名	区 分
直 島 淳 太	なおしま医院 院長	紫波郡医師会
近 藤 正 人	まさひとデンタルクリニック 院長	紫波郡歯科医師会
作 山 正 美	MS スポーツ健康科学研究所 主宰	学識者
笹 田 陽 子	盛岡大学名誉教授	学識者
橋 本 信 子	元矢巾町保健師	学識者
吉 田 聡 志	一般財団法人紫波町体育協会 事務局長	各種団体
石 亀 孝 文	紫波町社会福祉協議会 副会長	各種団体
高 橋 紅 子	紫波町老人クラブ連合会 副会長	各種団体
山 田 好 子	紫波町保健推進員協議会 幹事	各種団体
小 澤 由香里	紫波町食生活改善推進員協議会 会長	各種団体
牧 野 真悠子	紫波町学校保健委員会 養護教諭部会	各種団体
澤 口 裕 樹	一般町民	公募
今 ゆ か り	一般町民	公募
堀 内 由美子	一般町民	公募

第七次母子保健計画にかかるアンケート調査及び結果

1 アンケート実施の目的

母子保健に関する状況やニーズを把握し、今後の保健活動に役立てることを目的に実施する。

2 対象者

町内保育・子育て支援施設（全 14 施設）を利用する保護者
798 世帯（7月1日時点）

3 実施期間

令和5年7月10日～7月31日

4 実施方法

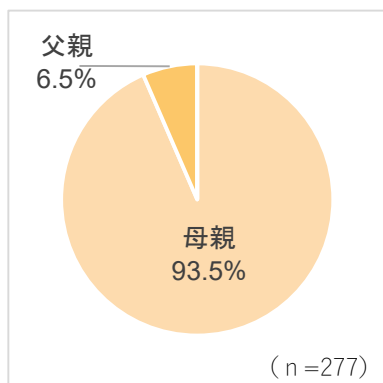
各施設を通じてアンケートの QR コードを掲載した書面を配付。対象者が QR コードを読み取り回答する。

5 回答率

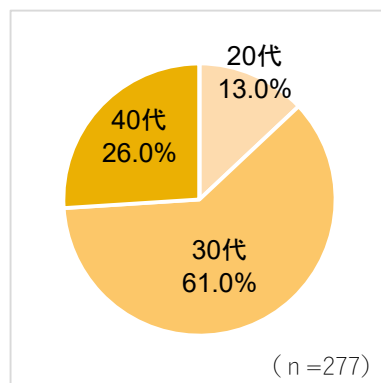
34.7%（277 世帯/798 世帯）

1 アンケート回答者の状況

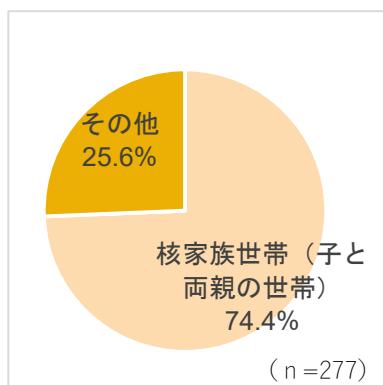
(1) アンケート回答者



(2) 年齢

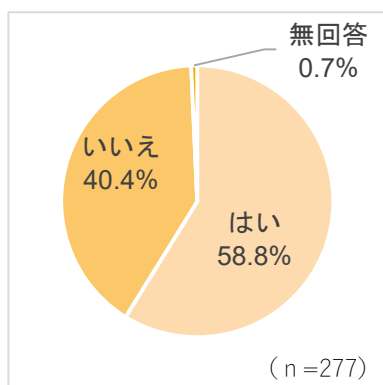


(3) 家族の状況

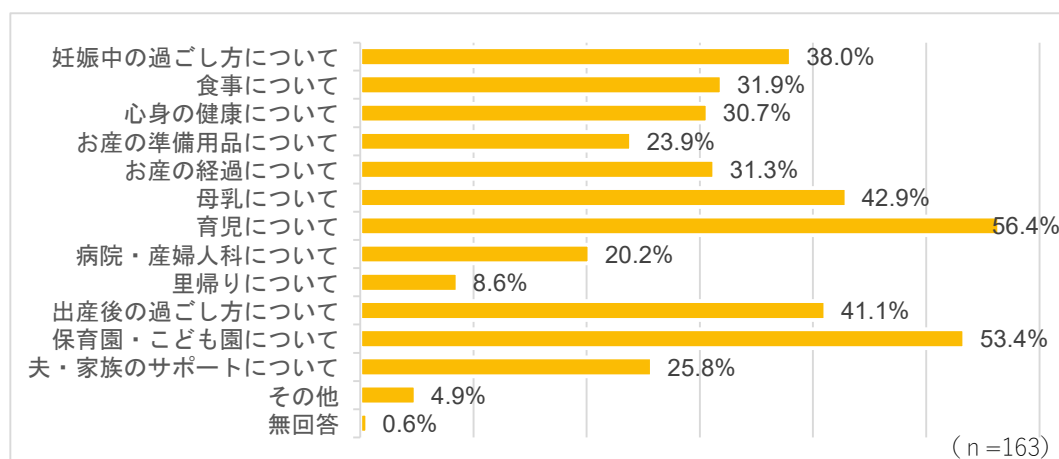


2 妊娠時期から出産のことについて

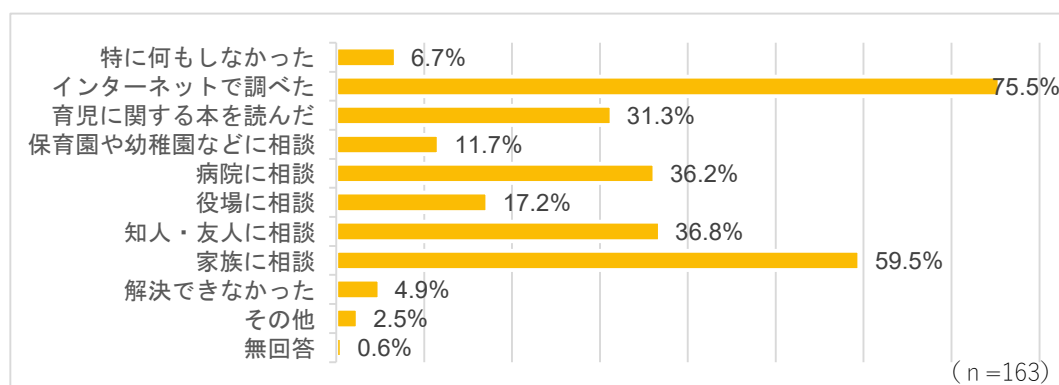
問1 妊娠中から産後にかけてわからないことや不安なこと、困ったことがありましたか？



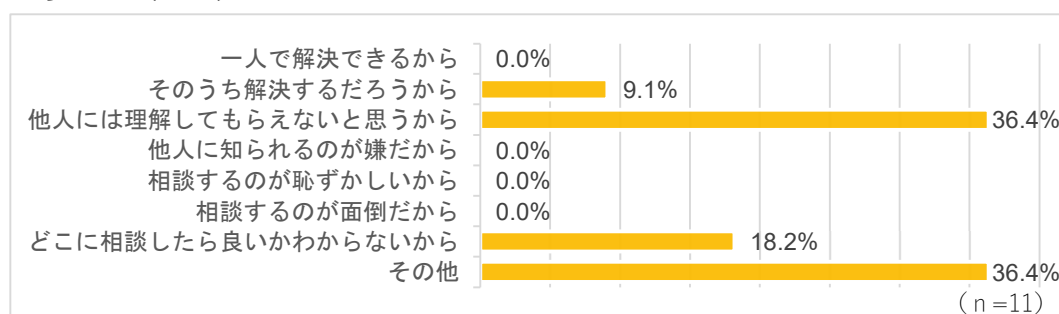
問１－１ 問１で「はい」と答えた方にお聞きします。それはどのような内容ですか？（複数回答可）



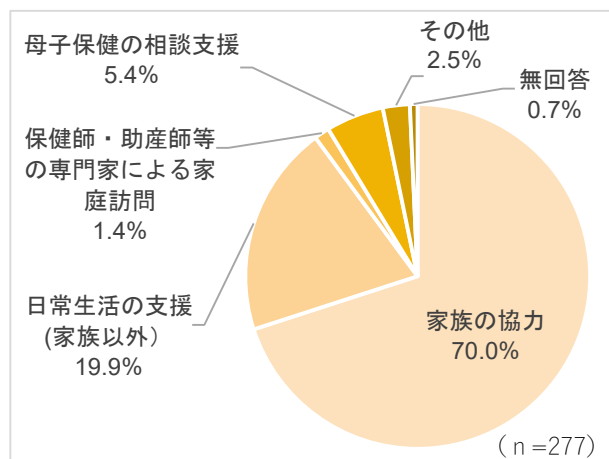
問１－２ 問１で「はい」と答えた方にお聞きします。どの様に解決しましたか？（複数回答可）



問１－３ 問１－２で「特に何もしなかった」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか？（１つ）

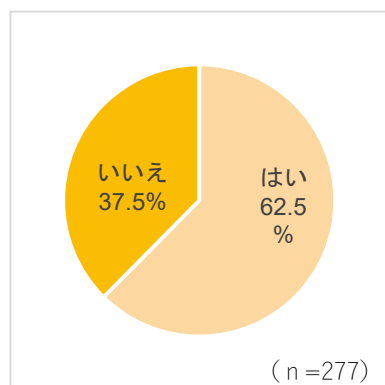


問2 妊娠中から産後に最も希望する支援の内容は何ですか？

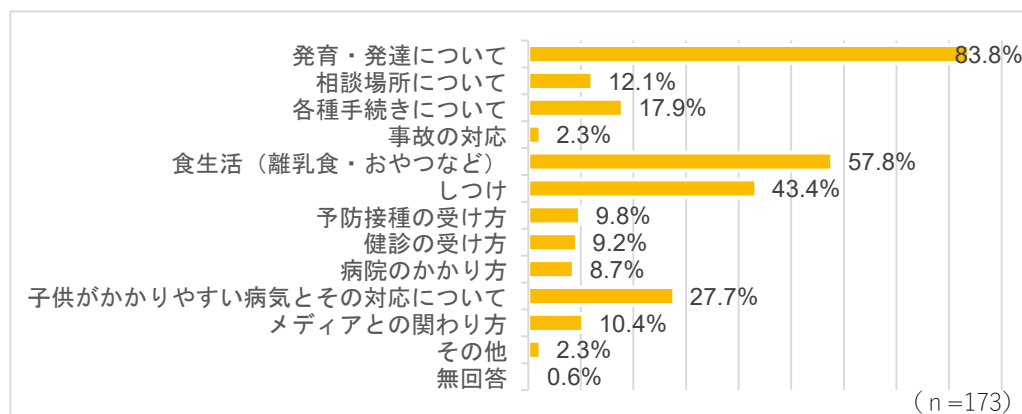


3 子育てについて

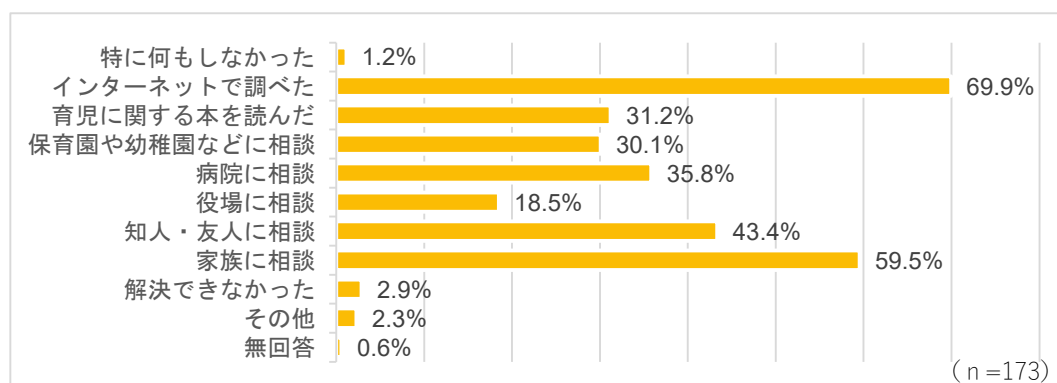
問1 お子さんの成長発達や子育てについてわからないこと、不安なこと、困ったことがありましたか？



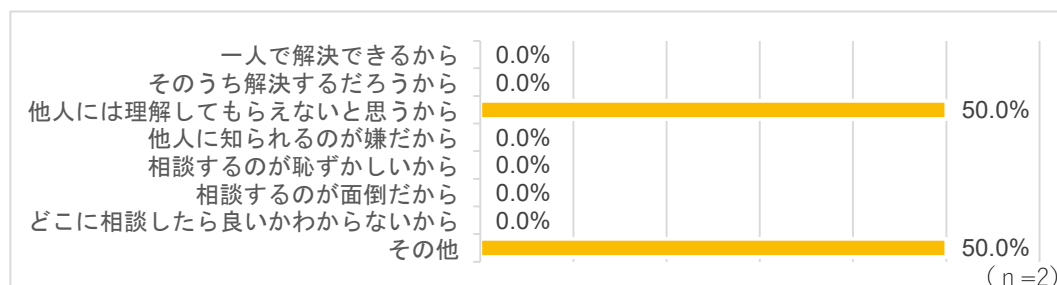
問1-1 問1で「はい」と答えた方について、どのような内容でしたか？（複数回答可）



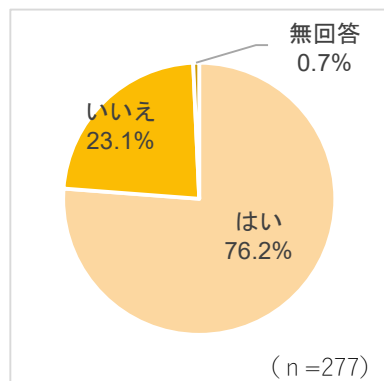
問１－２ 問１で「はい」と答えた方にお聞きします。どのように解決しましたか？（複数回答可）



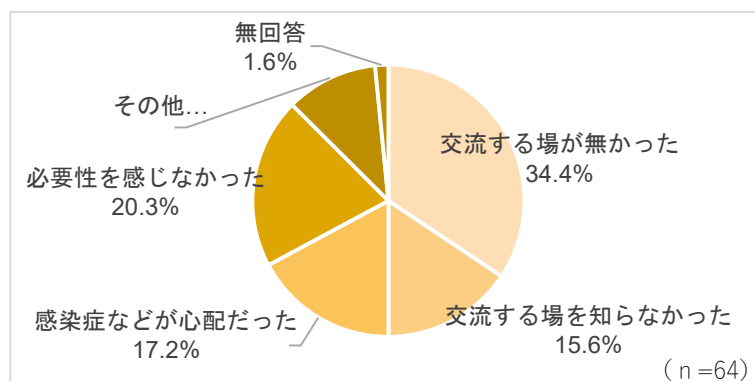
問１－３ 問１－２で「特に何もしなかった」と答えた方にお聞きします。それは何故ですか？（１つ）



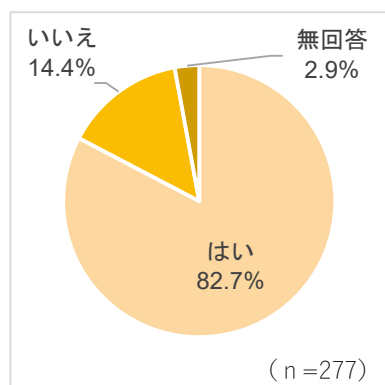
問２ あなたは同じ年頃の子供を持つ親と交流する機会がありましたか？



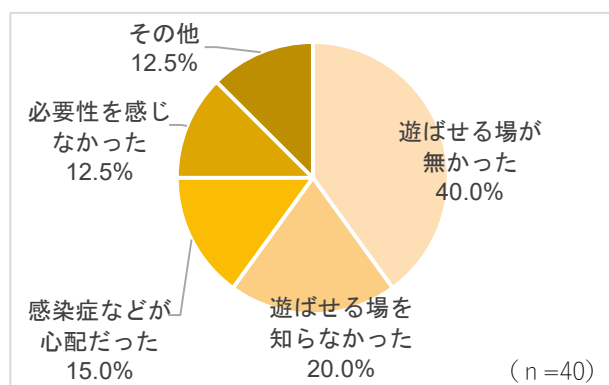
問２－１ 問２で「いいえ」と答えた方にお聞きします。交流する機会がなかった理由は何ですか？（１つ）



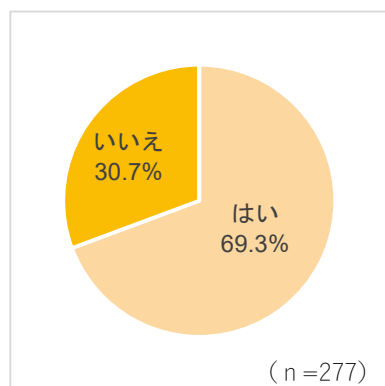
問3 お子さんと同じ年頃の子供同士で遊ばせる機会がありましたか？



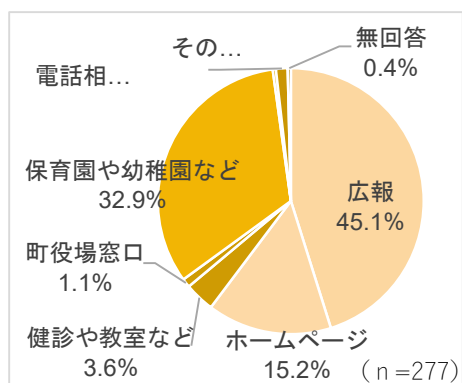
問3-1 問3で「いいえ」と答えた方にお聞きします。遊ばせる機会が無かった理由は何ですか？（1つ）



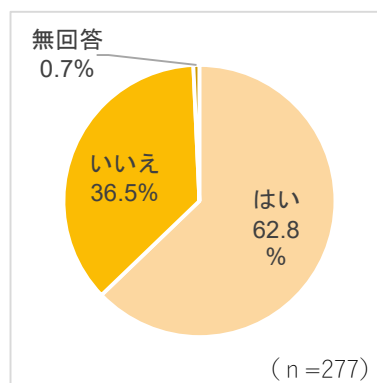
問4 自分がリフレッシュできる機会がありますか？



問5 町の子育て情報を得るために、最も活用しているものはどれですか？（1つ）

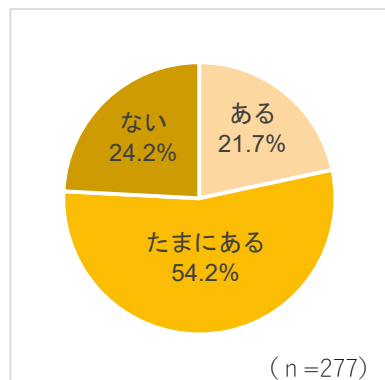


問6 紫波町は子育てに必要な情報をわかりやすく伝えていると思いますか？

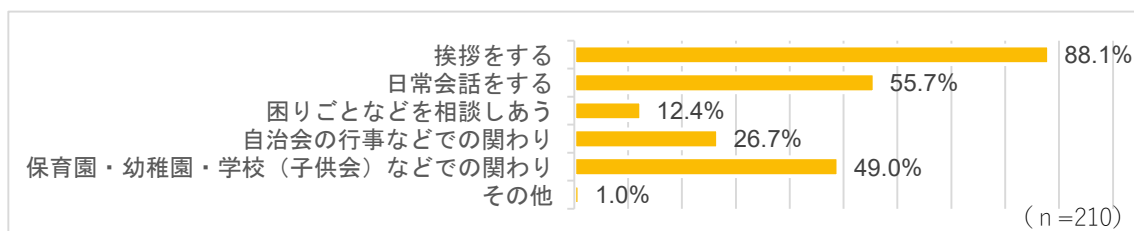


4 普段の生活について

問1 回答者の方について、近所の方との交流はありますか？

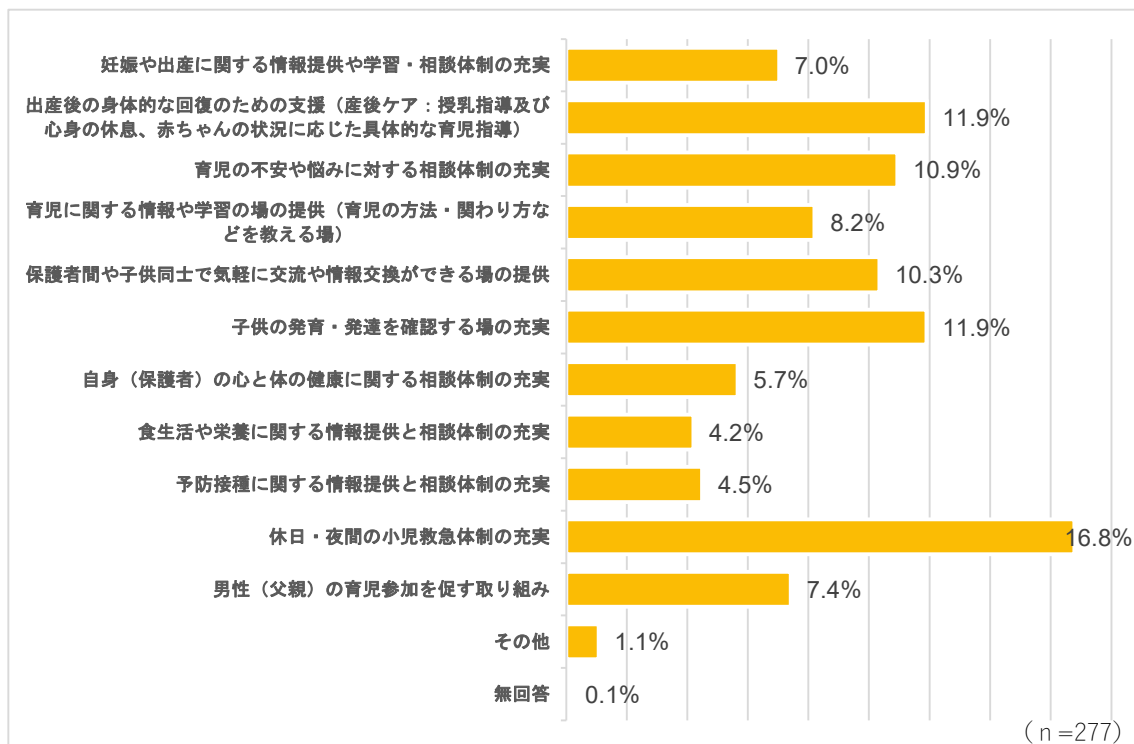


問1-1 問1で「ある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。それはどのような交流ですか？



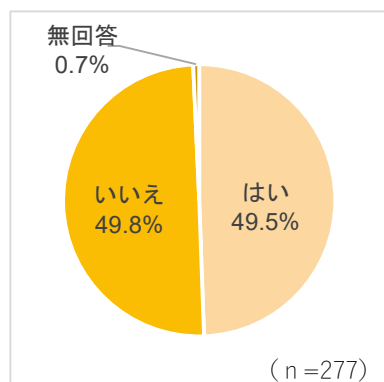
5 母子保健サービスについて

問1 今後の母子保健サービスにはどのようなことを望めますか？（複数回答可）

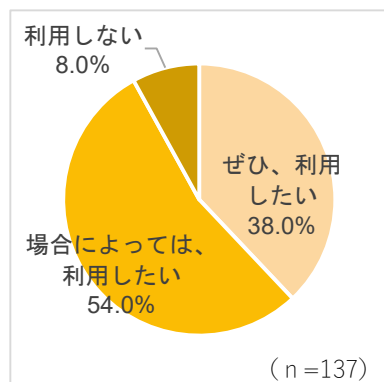


6 産後ケアについて（産後4か月までのこと）

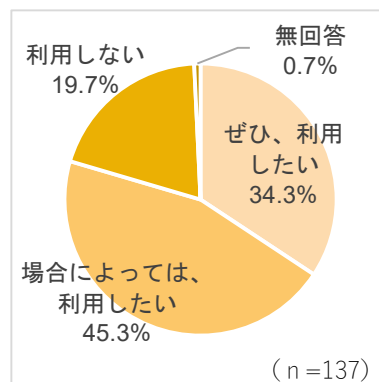
問1 出産から4か月位までの間に、産後ケアのサービスを利用しようと思いますか？



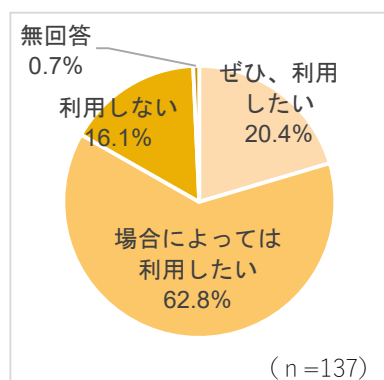
問1-1 産後ケアのうち、デイサービス型（日帰り滞在型）のサービスを利用したいと思いますか？



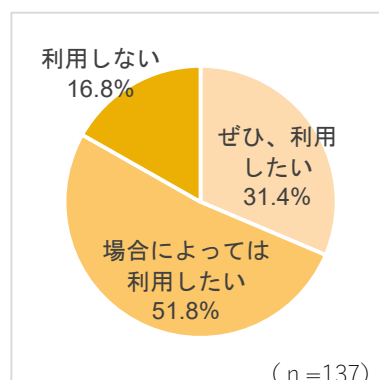
問1-2 産後ショートステイ（宿泊型）のサービスの利用をしようと思いますか？



問1-3 産後居宅訪問（アウトリーチ型）を利用しようと思いますか？

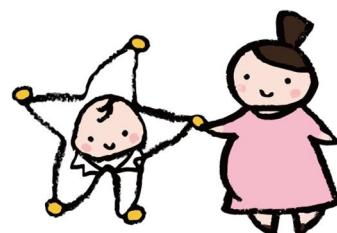


問1-4 産後ホームヘルプサービス（家事支援）を利用しようと思いますか？



第七次母子保健計画策定経過

年月日	会議等
令和5年 4月 28日	係員会議①
5月 16日	係員会議②
6月 1日	第1回 市民参加推進会議
6月 6日	係員会議③
6月 12日	係員会議④
6月 27日	係員会議⑤
7月 13日	係員会議⑥
7月 10日～7月 31日	母子保健計画策定に向けてのアンケート調査
8月 3日	係員会議⑦
8月 7日	第1回 元気はつらつ委員会
8月 25日	係員会議⑧
8月 31日	母子保健担当者意見交換会
9月 12日	係員会議⑨
9月 19日	係員会議⑩
9月 21日	第2回 市民参加推進会議
9月 27日	係員会議⑪
10月 13日	係員会議⑫
10月 30日	係員会議⑬
11月 6日	係員会議⑭
11月 17日	係員会議⑮
11月 28日	係員会議⑯
11月 30日	係員会議⑰
12月 5日	係員会議⑱
12月 15日	係員会議⑲
令和5年12月20日～ 令和6年1月 11日	パブリックコメント
令和6年 2月 2日	第2回 元気はつらつ委員会





第七次紫波町母子保健計画

令和 6 年 3 月 岩手県紫波町

〒028-3392

岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目 3 番地 1

紫波町生活部健康福祉課

電話 019-672-2111